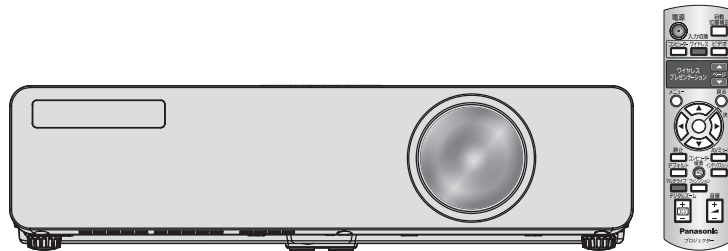


取扱説明書

液晶プロジェクター 業務用

品番 PT-LB80NT
PT-LB80
PT-LB75NT
PT-LB75



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(4～8ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

もくじ

■ 投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
(16 ページ)



2. 本機と外部機器を接続する
(18 ページ)



3. 電源コードを接続する
(20 ページ)



4. 電源を入れる
(22 ページ)



5. 投写する映像を選択する
(24 ページ)



6. 映り具合を調整する
(24 ページ)

安全上のご注意

安全上のご注意	4
---------	---

はじめに

ご使用になる前に	9
運搬上の留意点	9
設置に関する留意点	9
使用上の留意点	10
セキュリティに関するお願い	11
付属品の確認	11
はじめにお読みください	12
各部の名称とはたらき	13
リモコン	13
本体	14

準備

設置する	16
投写画面サイズと設置位置	16
投写方式	17
アジャスター脚による投写角度調整	17
接続する	18
接続の前に	18
S ビデオ / ビデオ入力端子の接続	18
コンピューター入力端子の接続	19

基本的な使い方

電源を入れる / 切る	20
電源コードの接続	20
電源ロックモニター、 電源モニターについて	21
電源を入れる	22
電源を切る	23
投写する	24
投写する映像を選択する	24
映像の映り具合を調整する	24
リモコンで操作する	25
映像を一時的に静止させる	25
映像・音声を一時的に消す	25
入力信号を切り換える	25

表示位置を自動補正する.....	26
出荷状態に戻す.....	26
音量を調整する.....	26
インデックスウィンドウで表示する.....	26
映像を拡大する.....	27
ファンクションボタンを使用する.....	27

調整と設定

オンスクリーンメニューについて.....	28
オンスクリーンメニュー.....	28
メインメニュー.....	28
サブメニュー.....	28
メニュー画面の操作方法.....	30
「映像調整」メニューについて.....	31
映像モード.....	31
コントラスト.....	31
明るさ.....	31
色の濃さ.....	31
色あい.....	31
シャープネス.....	32
色温度設定.....	32
デイライトビュー.....	32
詳細設定.....	33
「位置調整」メニューについて.....	34
リアルタイム台形補正.....	34
台形補正.....	34
表示位置.....	34
ドットクロック.....	34
クロックフェーズ.....	35
アスペクト.....	35
フレームロック.....	36
「言語設定」メニューについて.....	36
「本体設定」について.....	37
入力ガイド.....	37
スタートアップロゴ.....	37
COMPUTER2 入出力選択.....	38
RGB/YPbPr.....	38
ワイドモード.....	38
ランプパワー.....	38
ランプ使用時間.....	38
電源オフタイマー.....	38
ダイレクトパワーオン.....	39
本体ボタン操作.....	39
自動位置補正.....	39
入力検出.....	39

設置方法.....	39
高地モード.....	39
ファンクションボタン.....	40
テストパターン.....	40
詳細設定.....	41

セキュリティ.....	42
パスワード設定.....	42
パスワード変更.....	42
テキスト設定.....	42
テキスト変更.....	42

ワイヤレス (PT-LB80NT/PT-LB75NTのみ).....	43
--	-----------

点検とお手入れ

ランプモニター、温度モニター.....	44
モニターが点灯したら.....	44
お手入れ / 部品交換.....	45
お手入れ / 部品交換の前に.....	45
お手入れ.....	45
部品交換.....	46
修理を依頼される前に.....	49

その他

付録.....	50
対応信号リスト.....	50
シリアル端子について.....	51
投写画面サイズ (アスペクト 16 : 9 の場合).....	53
仕様.....	54
保証とアフターサービス.....	56
用語について.....	57
さくいん.....	58
外形寸法図.....	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

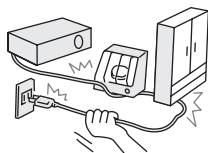


警告

- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない



禁止



傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。

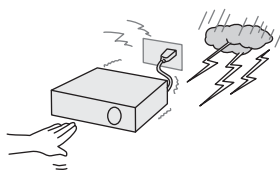
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

- 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグに触れない



接触禁止

感電の原因となります。



- 電源プラグのほこり等は定期的にとる



電源プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良になり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

警告

■ 付属の電源コード以外は使用しない



禁止

感電の原因となります。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100 V 以外での使用はしない



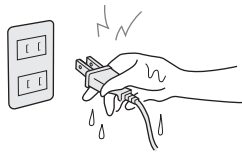
禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

■ ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手
禁止



感電の原因となります。

■ 水などの液体をかけたりぬらしたりしない



禁止



ショートや発熱により火災・感電の原因となります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

■ コンセントを本機の近くに取り付ける



異常のまま使うと火災・感電の原因となります。

- 異常の際に電源プラグをすぐに抜けるようにしてください。

■ 異常があったときは、電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音がでたとき

そのまま使うと、火災・感電の原因となります。

- 販売店にご依頼ください。

■ 異物を入れない



禁止



ショートにより火災・感電の原因となります。

- 内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

■ 天井取り付け (天つり) などの設置工事は専門の技術者あるいは購入店に依頼する



工事の不備があると事故の原因となります。

■ 当社で指定した天つり金具を使用する



天つり金具に不備があると事故の原因となります。

■ 使用中は投写レンズをのぞかない



禁止

投写レンズからは強い光が出ます。直接、中をのぞくと目を痛める原因となります。

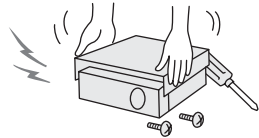
- 特に小さなお子様にはご注意ください。

警告

■ 分解したり、改造したりしない



分解禁止



内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

警告	
	高圧注意
<small>サービスマン以外の方はケースをあげないでください。内部には高電圧部分が多くあり万一さわると危険です。</small>	

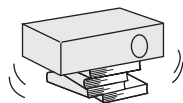
「本体に表示した事項」

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■ 荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない



禁止

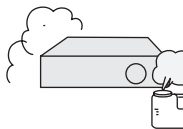


強度が弱い所や不安定な場所に設置すると、落下などで大きな事故やけがの原因となります。

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない



禁止



火災・感電の原因となることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置のときに落下する恐れがあります。

■ カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しない



禁止

内部に熱がこもり本機の故障、火災ややけどの原因となることがあります。

■ 排気孔には手や物を近づけない



禁止

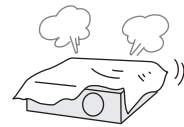
排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり、熱に弱いものを置いたりするとやけどや変形の原因となります。

- 周辺の壁や物から 50 cm 以上離して設置してください。

■ 放熱を妨げない



禁止



内部が高温になり、火災の原因となることがあります。

- 布や紙など上に置かないでください。吸気孔に吸着する場合があります。
- 押し入れ、本棚など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。

■ 電池は誤った使い方をしない



禁止

液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。

- 乾電池は充電しない。
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない。
- +と-を針金などで接続しない。
- 金属製ネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない。
- +と-を逆に入れれない。
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない。
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない。
- 被覆のはがれた電池は使わない。
電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因となりますので、絶対にはがさないでください。

警告

■ 電池の液がもれたときは、素手でさわらないでください



禁止

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるのできれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。

■ 使い切った電池は、すぐにリモコンから出す



そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

■ ランプユニット交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

電源プラグを抜かないで、交換作業をおこなうと、感電や破裂の原因となります。

■ ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから (1 時間以上待つて) 行う



カバー内部がかなり熱く、やけどの原因になります。

■ ランプユニットを分解しない



禁止

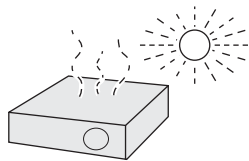
ランプ部分が破裂すると、けがの原因になります。

注意

■ 異常に温度が高くなるところに置かない



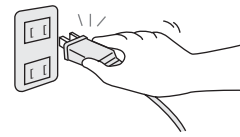
禁止



外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、熱器具の近くでは特にご注意ください。

■ 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く



コードをひっぱるとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

注意

■ 移動させる場合は、必ず接続線を外す

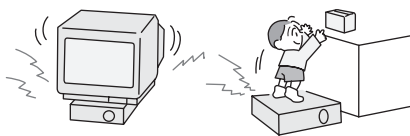


接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



禁止



バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。また本機の破損や変形の原因になることがあります。

■ 古いランプユニットは使用しない



禁止

ランプユニットは消耗部品です。使用時間を超えたランプユニットは使用しないでください。破裂する場合があります。

■ ランプが破裂したときは、触ったり、顔を近づけたりしない



禁止

散乱したガラス片でけがをしたり、破裂により発生したガス（蛍光灯程度の水銀を含有）を吸い込んでしまったりする恐れがあります。

- 直ちに換気を行ってください。
- 万が一吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりした場合は直ちに医師にご相談ください。
- 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。

■ 長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因となることがあります。また、電源を切っても約 3.0 W の電力を消費しています。

■ 長期間ご使用にならないときは、リモコンから電池を取り出す

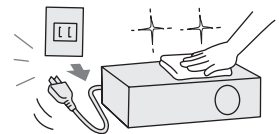


電池が液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

■ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く



感電の原因となることがあります。

■ 1年に1度は内部の清掃を販売店に依頼する



本機の内部にほこりがたまったまま使用し続けると、火災の原因となることがあります。

- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

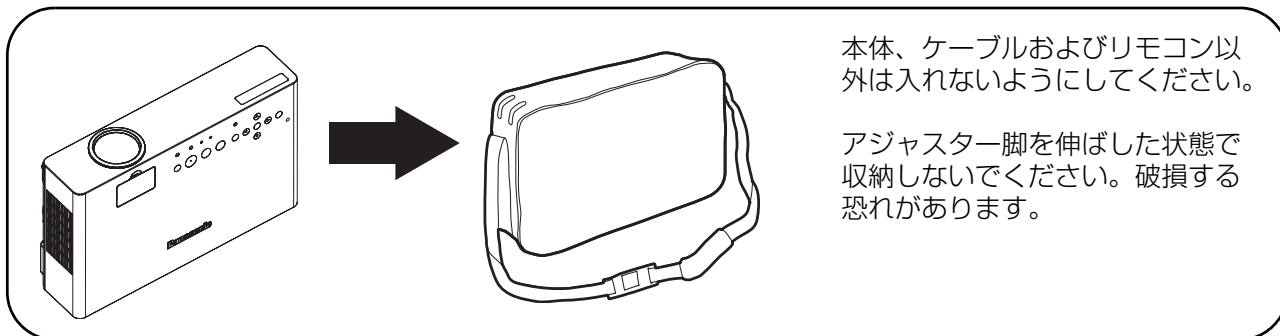
ご使用になる前に

運搬上の留意点

■ 運搬の際は、必ずレンズカバーを取り付け付属のキャリングバッグを利用してください

キャリングバッグには、本体のレンズを上側にして収納してください。

- 投写レンズは、振動や衝撃に対して影響を受けやすい部品です。運搬時には特にご留意ください。



本体、ケーブルおよびリモコン以外は入れないようにしてください。

アジャスター脚を伸ばした状態で収納しないでください。破損する恐れがあります。

設置に関する留意点

■ 屋外に設置しないでください

本機は、室内でご使用ください。

■ 以下の場所には設置しないでください

- 振動や衝撃が加わる場所：内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所（使用環境条件 12、55 ページ）：ランプの寿命などに影響を及ぼす恐れがあり、熱により本体が変形し、故障の原因となることがあります。
- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。

■ 本機を天井に取り付ける場合は、必ず専門の技術者にご依頼ください

販売店にご相談ください。
別売りの天つり金具が必要です。
品番：ET-PKB80

■ 海拔 1 400 m 以上でご使用の際は、「高地モード」を「オン」に設定してください（12、39 ページ）

また、海拔 2 700 m 以上の場所に設置しないでください

「高地モード」を「オン」に設定しないと部品の寿命等に影響を及ぼす恐れがあります。
また、故障の原因になる場合があります。

■ 本機を立てたり、左右に傾けて使用しないでください（16 ページ）

上下方向に ± 30 度以上立てたり、左右方向に ± 10 度以上傾けた状態で使用すると部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

ご使用になる前に (つづき)

使用上の留意点

■美しい映像をご覧いただくために

スクリーン面に外光や照明などの光が当たらないように、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、照明を消すなどしてください。

■レンズカバーのガラス部分は素手でさわらないでください

指紋や汚れがつくと、スクリーンに汚れが映ります。

■液晶パネルについて

本機には、映像表示部品として3枚の液晶パネルを使用しています。液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されておりますが、投写画面の一部にドット欠けや、常時点灯が存在する場合があります。また、静止画を長時間映すと、液晶パネルに映像の残像が生じる場合がありますが、その場合は、テストパターン(☞40 ページ)の中にある全白画面を1時間以上投写してください。

■光学部品について

毎日6時間以上連続使用される場合、1年未満でも液晶パネルや、偏光板などの光学部品の交換が必要になることがあります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

■ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには下記の特徴があります。

- 使用時間にとまらぬ、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃やキズ、使用時間による劣化などで大きな音で破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって寿命に大きなバラツキがあります。特に10時間以上の連続使用や頻繁な電源の入り/切りの繰り返しは、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を超えると破裂の可能性が高くなります。(交換時期 ☞46 ページ/交換手順 ☞47 ページ)
- 破裂したときには内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。

■廃棄について

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

注意

コンピューターや外部機器に接続する際、各々の機器に付属の電源コードとシールドされた市販のケーブルを使用してください。

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。



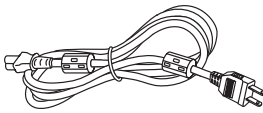
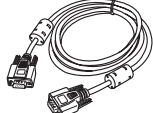
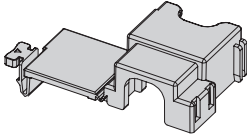
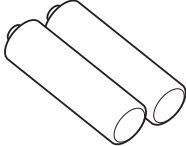
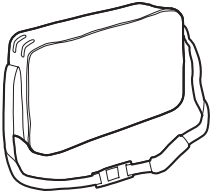


- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。(P.42 ページ)

- パスワードは出来るだけ推測されにくいものにして下さい。
- パスワードは定期的に変更して下さい。
- 松下電器産業株式会社および、その関係会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
- ファイヤーウォールなどにより、安全性の確保されたネットワークでご使用ください。
- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。

付属品の確認

下図の付属品が入っていることを確認してください。

<p>リモコン：1 個 PT-LB80NT/75NT 用 (N2QAYB000261)</p> 	<p>リモコン：1 個 PT-LB80/75 用 (N2QAYB000263)</p> 	<p>電源コード (2 m)：1 本 (K2CA2DR00004)</p> 	<p>RGB 信号ケーブル：1 本 (1.8 m VGA 用、 K1HA15DA0002)</p> 	
		<p>電源コード抜け防止カバー 1 個 (TTRA0185)</p> 	<p>リモコン用単 3 形乾電池 2 個</p> 	
<p>キャリングバック：1 個 (TPEP021)</p> 		<p>無線国内注意ラベル 1 枚 (TQFC926)</p> 	<p>CD-ROM：1 枚 (TQBH9011)</p> 	
				<p>(PT-LB80NT/75NT のみ)</p>

お願い：

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出した後、適切に処理してください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。

はじめにお読みください

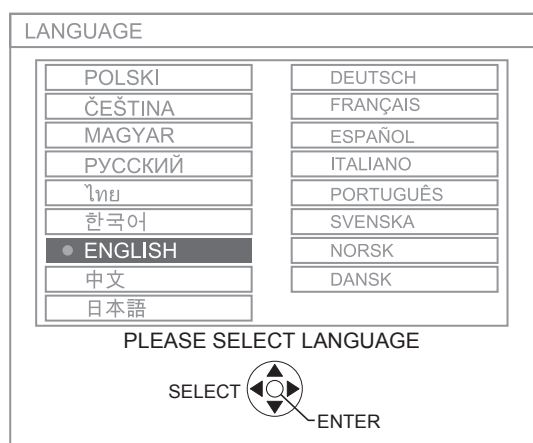
本機をご購入後はじめて電源を入れたとき、および「全設定初期化」(P41 ページ) を実行した場合、「言語設定」と「本体設定」のメニュー画面が表示されます。ご使用になる場合や状況に応じて設定してください。

それ以外の場合でも、メニュー操作で設定を変更できます。

■言語設定

オンスクリーンに表示させる言語を選択してください。(P36 ページ)

1) ▲▼◀▶ ボタンで表示言語を選ぶ

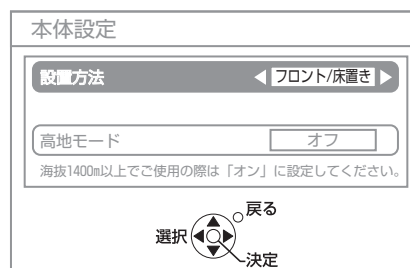


2) 「決定」 ボタンを押し、次の本体設定を行ないます

■本体設定

「設置方法」と「高地モード」で項目内の選択をしてください。

- 1) ▲▼ ボタンで項目を選ぶ
- 2) ◀▶ ボタンで「設置方法」の設定と「高地モード」を切り換える



- 設置方法 (P17、39 ページ)

フロント/床置き	スクリーン前方にある机の上などに設置する場合
フロント/天つり	スクリーン前方にある天つり金具(別売品)を使用して設置する場合
リア/床置き	スクリーン後方(透過式スクリーン使用)にある机の上などに設置する場合
リア/天つり	スクリーン後方(透過式スクリーン使用)に天つり金具(別売品)を使用して設置する場合

- 高地モード (P9、39 ページ)

オフ	通常的环境で使用のとき
オン	高地(海拔1400m以上)で使用のとき

3) 「決定」 ボタンを押すと設定が終了します

お知らせ:

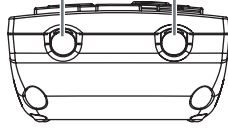
- 「本体設定」メニューで「戻る」ボタンを押すと、「言語設定」メニューに戻ることができます。

各部の名称とはたらき

リモコン

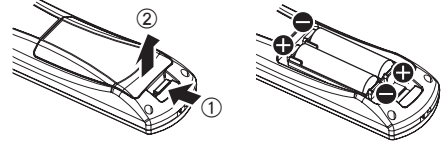
■ 天面

リモコン発信部



リモコンの電池の入れかた

ふたを開ける 電池を入れ、ふたをしめる
(●側から先にいれます)



■ 正面

本体の電源プラグを入れた状態で電源を入り、切りする
([22 ページ](#))

投写する入力信号を選択する
(ワイヤレスボタンは PT-LB80NT/PT-LB75NTのみ)
([25 ページ](#))

メニューを表示する
([28 ページ](#))

メニュー画面操作に使用する
([30 ページ](#))

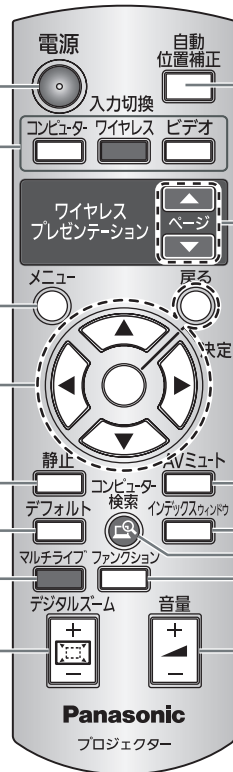
映像を一時的に静止させる
([25 ページ](#))

サブメニューの調整値を工場出荷状態に戻す
([26 ページ](#))

ネットワーク入力信号を選択時に使用する

付属のCD-ROMをご覧ください
(PT-LB80NT/PT-LB75NTのみ)

映像を拡大する
([27 ページ](#))



コンピュータ信号を入力時に映像を投写しながらこのボタンを押せば、「表示位置」、「ドットクロック」、「クロックフェーズ」を自動補正する
([26 ページ](#))

ワイヤレス入力信号を選択時に使用する

付属のCD-ROMをご覧ください
(PT-LB80NT/PT-LB75NTのみ)

映像と音声を一時的に消す
([25 ページ](#))

静止画像と動画の2画面表示をする
([26 ページ](#))

ネットワーク接続可能なコンピュータを検索する

付属のCD-ROMをご覧ください
(PT-LB80NT/PT-LB75NTのみ)

よく使う操作を割り当てショートカットボタンとして使用する
([27](#)、[40 ページ](#))

内蔵スピーカーまたは音声出力の音量を調整する
([26 ページ](#))

お願い:

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを分解・修理しないでください。
- リモコンの電池には、種類の違うものや、新・旧を一緒にしないで、アルカリ乾電池またはマンガン乾電池をご使用ください。
- リモコンにストラップを取り付けた場合、ストラップを持って振り回さないでください。
- リモコン受信部に蛍光灯などの強い光が当たると、操作ができなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

お知らせ:

- リモコンを直接、本機の前面 / 後面のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信部正面より約 15 m 以内でご使用ください。また、上下左右に± 30 度まで操作可能です。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。リモコンからの信号をスクリーンに反射させて、本機を操作することができますが、スクリーン特性による光反射ロスにより操作有効範囲に制限がでる場合があります。

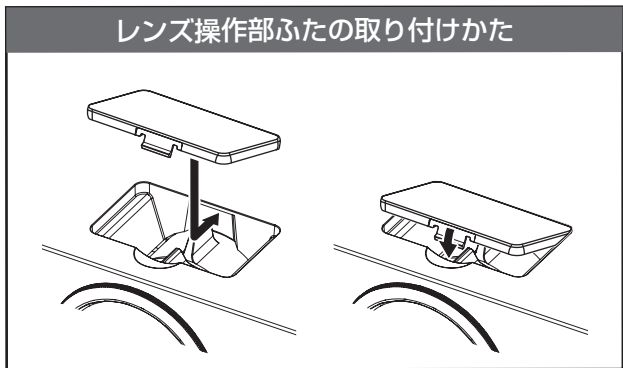
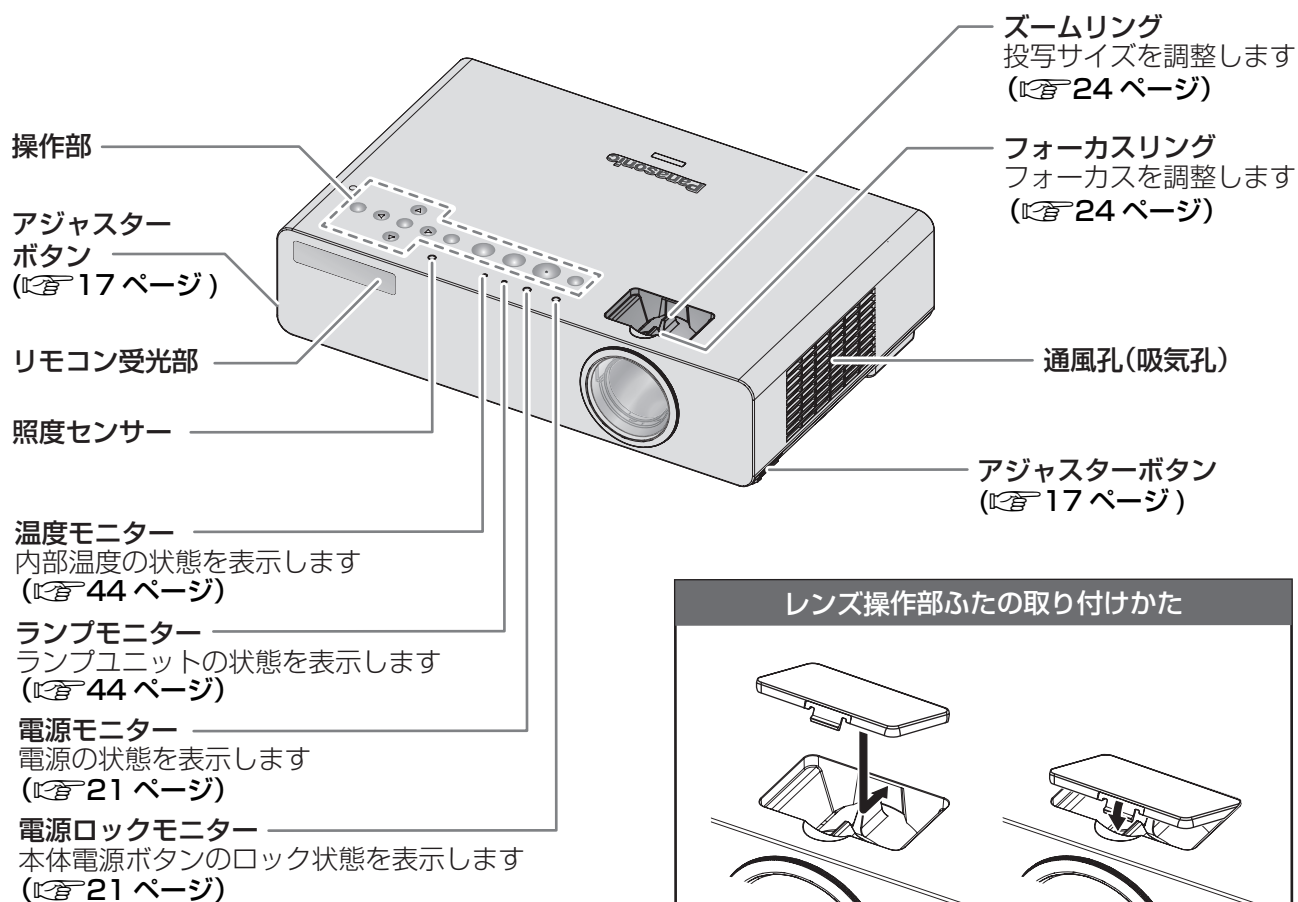


使用状況に合わせてストラップを取り付けることができます

各部の名称とはたらき (つづき)

本体

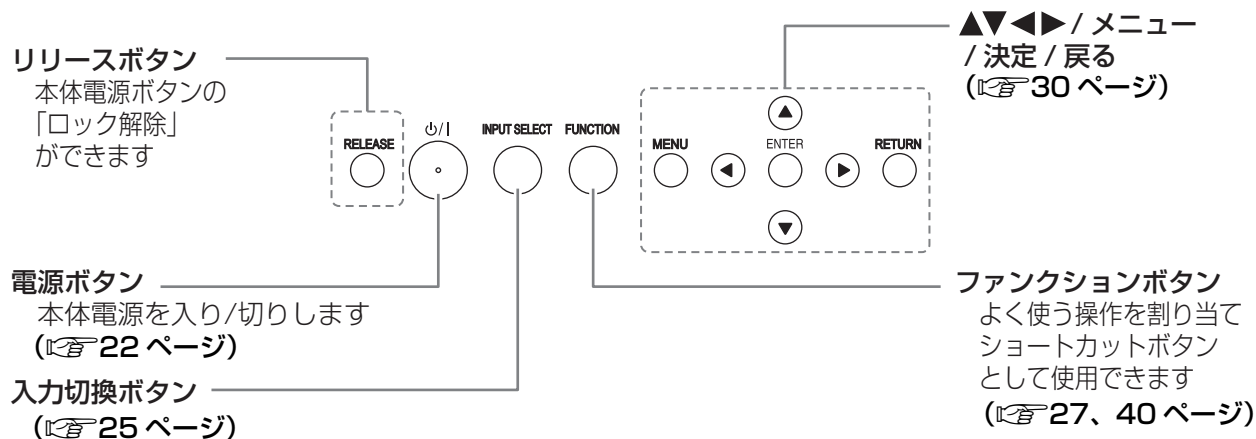
■ 前面・上面・右側面



お願い:

- 付属品以外の電源コードは接続しないでください。
- 通風孔 (吸気孔、排気孔) は、ふさがないようにしてください。
- ズーム・フォーカス調整後、ほこりが入らないよう「レンズ操作部ふた」を取り付けてください。

■ 操作部



■後面・底面・左側面

セキュリティスロット

このセキュリティスロットは、Kensington社製セキュリティケーブルに対応しています。Kensington社製セキュリティケーブルについてのお問い合わせ先は、右の通りです。

七陽商事株式会社 情報機器事業部
〒103-0007
東京都中央区日本橋浜町2-55-7 ナナヨウビル
Tel : 03-3663-7740
Fax : 03-3669-2367
http://www.nanayojapan.co.jp/
※連絡先は変更になる可能性があります。ご了承ください。

ランプユニット収納部
(☞ 47 ページ)

接続端子部

AC入力端子

付属の電源コードを接続します
(☞ 20 ページ)

エアフィルター
(☞ 45 ページ)

アジャスター脚
投写角度を調整します
(☞ 17、24 ページ)

リモコン受光部

盗難防止用フック

通風孔(吸気孔)

スピーカー

通風孔(排気孔)

アジャスター脚

投写角度を調整します
(☞ 17、24 ページ)



警告

■排気孔には手や物を近づけない



禁止

排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

●周辺の壁や物から50cm以上離して設置してください。

■接続端子部

コンピューター2入力/1出力端子

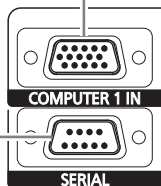
コンピューターからの信号またはコンポーネント(YPbPr)信号を入出力する端子です
(☞ 19 ページ)

コンピューター1入力端子

コンピューターからの信号またはコンポーネント(YPbPr)信号を入力する端子です
(☞ 19 ページ)

シリアル端子

コンピューターで本機を制御する端子です
(☞ 19 ページ)



Sビデオ/ビデオ映像入力端子

Sビデオ/ビデオ信号を入力する端子です (☞ 18 ページ)

Sビデオ/ビデオ用音声入力端子

Sビデオ/ビデオ用音声を入力する端子です (☞ 18 ページ)

音声出力端子

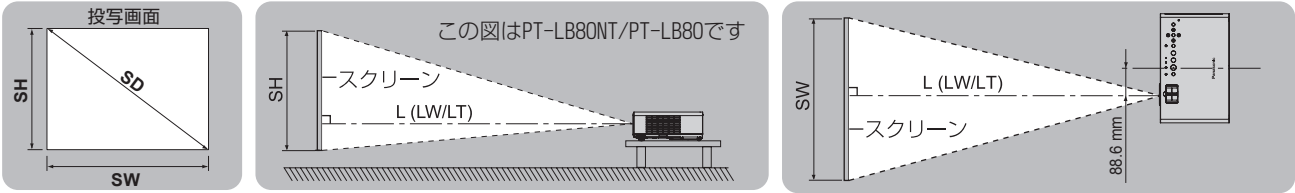
本機に入力された音声信号を出力します。この端子に接続すると内蔵スピーカーからは音声はできません
(☞ 18、19 ページ)

コンピューター1・2用音声入力端子
(☞ 19 ページ)

設置する

投写画面サイズと設置位置

本機は、1.2倍ズームレンズの採用により、投写画面サイズの調整ができます。投写する画面サイズと投写距離を確認し設置位置を決定してください。



(下記の表の寸法は若干の誤差があります)

投写画面サイズ (アスペクト4:3の場合)				
対角 (SD)	PT-LB80NT/PT-LB80		PT-LB75NT/PT-LB75	
	最短投写距離 (LW)	最長投写距離 (LT)	最短投写距離 (LW)	最長投写距離 (LT)
33型 (0.84 m)	—	1.1 m	—	1.1 m
40型 (1.02 m)	1.1 m	1.4 m	1.1 m	1.4 m
50型 (1.27 m)	1.4 m	1.7 m	1.4 m	1.7 m
60型 (1.52 m)	1.7 m	2.1 m	1.7 m	2.1 m
70型 (1.78 m)	2.0 m	2.5 m	2.0 m	2.4 m
80型 (2.03 m)	2.3 m	2.8 m	2.3 m	2.8 m
90型 (2.29 m)	2.6 m	3.2 m	2.6 m	3.1 m
100型 (2.54 m)	2.9 m	3.5 m	2.9 m	3.5 m
120型 (3.05 m)	3.5 m	4.2 m	3.5 m	4.2 m
150型 (3.81 m)	4.4 m	5.3 m	4.3 m	5.2 m
200型 (5.08 m)	5.9 m	7.1 m	5.8 m	7.0 m
250型 (6.35 m)	7.4 m	8.9 m	7.3 m	8.7 m
300型 (7.62 m)	8.8 m	10.7 m	8.7 m	10.5 m

上記の表以外の投写寸法を、投写画面サイズ SD (型) から下記の計算式で求めることができます。計算結果の単位はすべて m です。(下記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。)

投写画面サイズを SD とすると、

$$\text{投写画面サイズ 高さ (SH)} = \text{SD} \times 0.0152 \quad \text{投写画面サイズ 幅 (SW)} = \text{SD} \times 0.0203$$

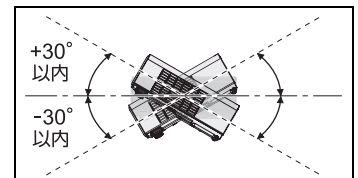
	PT-LB80NT/PT-LB80	PT-LB75NT/PT-LB75
最短投写距離 (LW)	$= 0.0296 \times \text{SD} - 0.039$	$= 0.0292 \times \text{SD} - 0.036$
最長投写距離 (LT)	$= 0.0358 \times \text{SD} - 0.047$	$= 0.0351 \times \text{SD} - 0.044$

お知らせ:

- 投写画面サイズ 16:9 の場合、寸法は「投写画面サイズ (アスペクト 16:9 の場合)」をご覧ください。(P53 ページ)

お願い:

- 美しい映像をご覧いただくためには、スクリーンを外光や照明などの光ができるだけ直接当たらない場所に設置してください。また、カーテンやブラインドなどを閉め、照明を消すなどしてください。
- 本機を立てたり、左右に傾けて使用しないでください。故障の原因となります。本機を傾けて設置する場合は、上下方向に ± 30 度以内にしてください。本機を上下方向に ± 30 度以上傾けた状態で使用されると部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

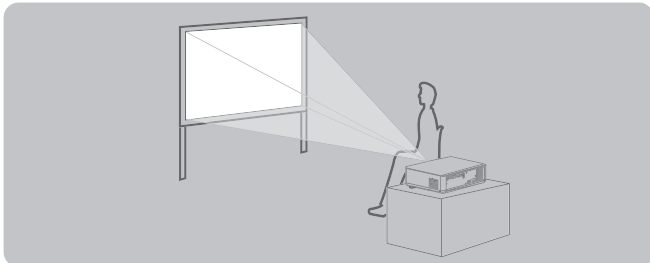


準備

投写方式

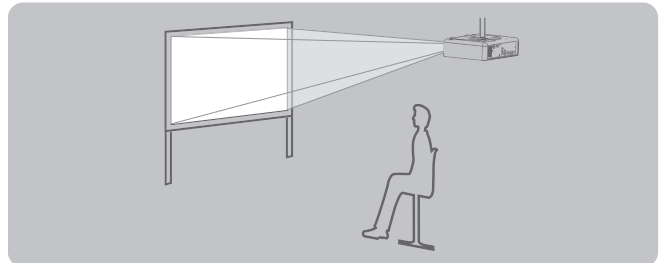
本機は、下図の 4 通りの投写方式が選択可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。投写方式の設定は「本体設定」メニューの「設置方法」をご覧ください。(P.39 ページ)

■ 床置きで前方に投写する場合



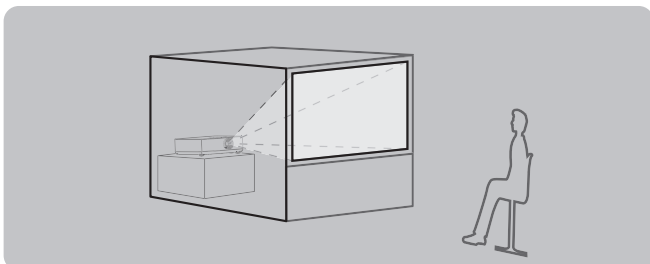
メニュー項目	設定値
設置方法	フロント / 床置き

■ 天つり設置で前方に投写する場合



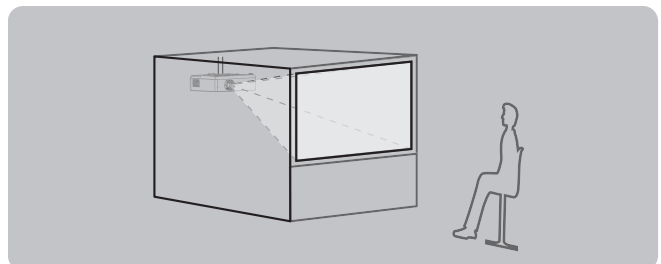
メニュー項目	設定値
設置方法	フロント / 天つり

■ 床置きで後方から投写する場合 (透過式スクリーン使用)



メニュー項目	設定値
設置方法	リア / 床置き

■ 天つり設置で後方から投写する場合 (透過式スクリーン使用)



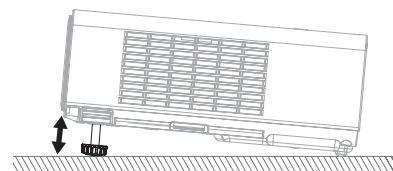
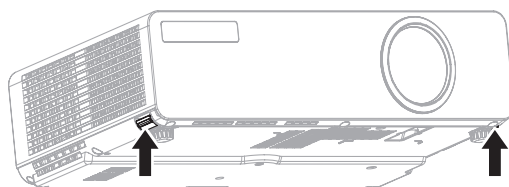
メニュー項目	設定値
設置方法	リア / 天つり

お知らせ:

- 天つり設置には、別売りの天つり金具が必要です。
品番：ET-PKB80

アジャスター脚による投写角度調整

アジャスターボタンを押すことで、上下方向に投写角度を調整できます。(P.24 ページ)



お願い:

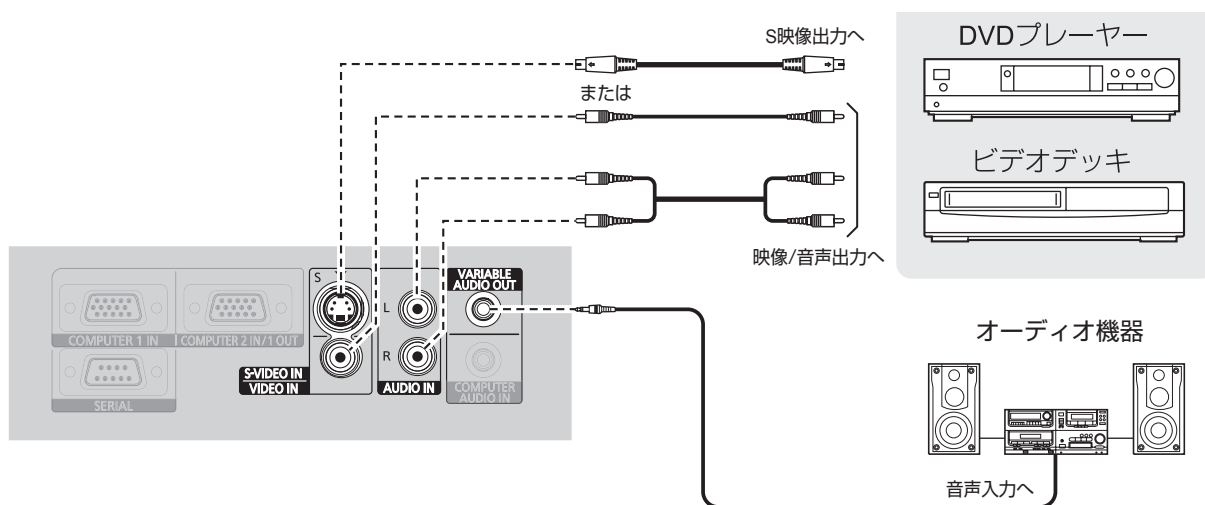
- 排気孔からは熱風が出ています。アジャスター脚を調整するときは、排気孔に直接手を触れないでください。
- 台形ひずみが発生している場合は、「位置調整」メニューの「台形補正」を行ってください。(P.34 ページ)

接続する

接続の前に

- 接続の際は、各機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切り」にしてから接続を行ってください。
- 接続に必要なケーブルは、接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースにジッター成分が多い場合は、画面が乱れることがあります。この場合はタイムベースコレクター (TBC) の接続が必要です。
- 本機と接続できる映像信号については、「対応信号リスト」をご覧ください。(P.50 ページ)

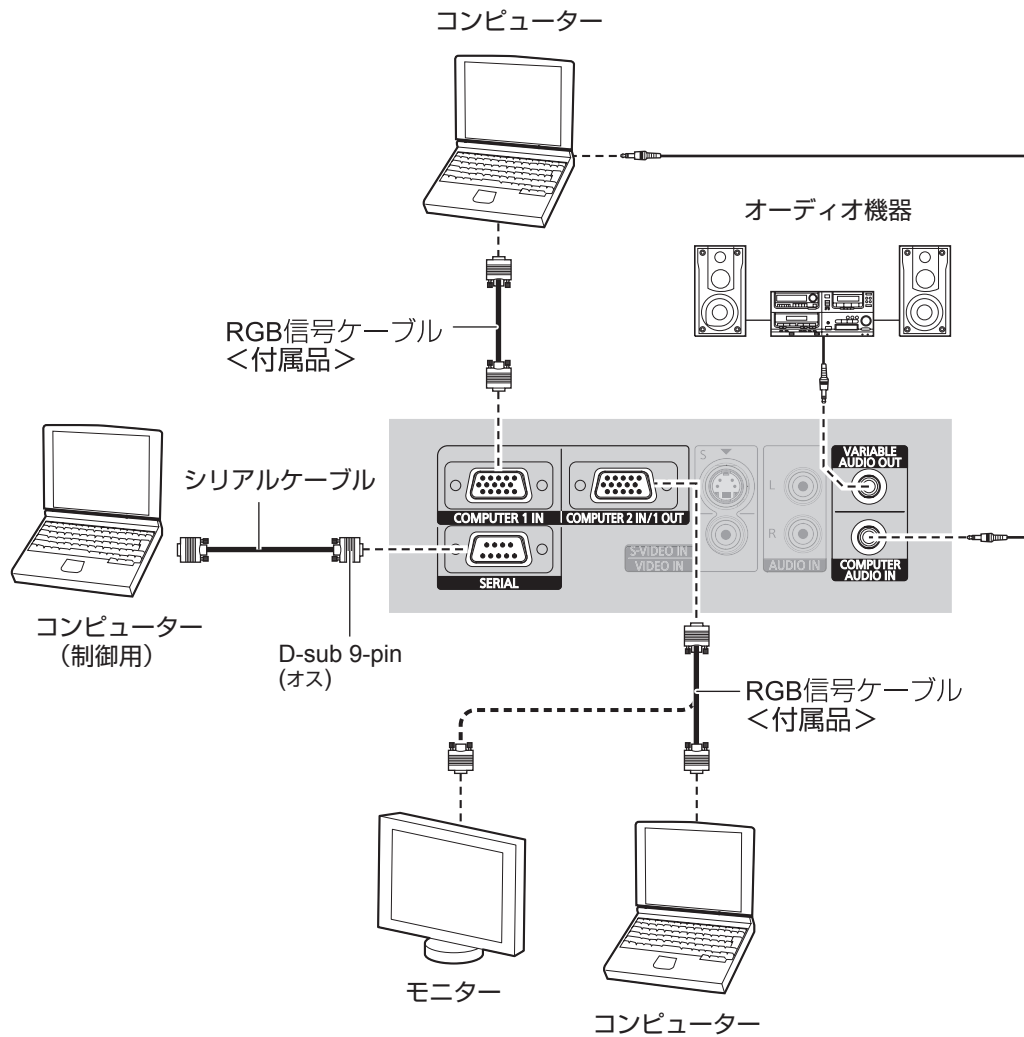
Sビデオ / ビデオ入力端子の接続 (例)



お知らせ:

- Sビデオ / ビデオ用音声入力端子は、1系統です。複数の機器を接続される場合は、差し換えてご使用ください。
- 各種接続ケーブルは、付属していません。市販品を使用してください。

コンピューター入力端子の接続 (例)



準備

お知らせ:

- 本機とコンピューターのワイヤレス通信については、付属の CD-ROM をご覧ください。
- 「本体設定」メニューで「**COMPUTER 2 入出力選択**」を「出力」に設定している場合は、コンピューター 2 入力 / 1 出力端子に信号を入力しないでください。
- コンピューター 1 出力端子を使用し複数台に接続すると、信号が劣化し画像が乱れたり写らない場合があります。
- コンピューター用音声入力端子は、1 系統です。複数の機器を接続される場合は、差し換えてご使用ください。
- 各種接続ケーブルは、付属していません。市販品を使用してください。

電源を入れる / 切る

電源コードの接続

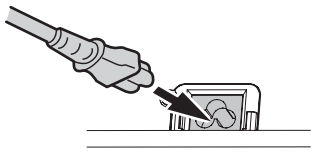
電源コードの抜けを防止するため、付属の「電源コード抜け防止カバー」で電源コードと本体を必ず固定してください。

付属の電源コードを使用し、根元まで確実に差し込んでください。

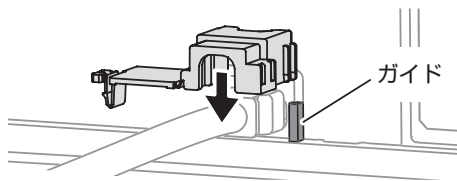
取り扱いについては「安全上のご注意」をご覧ください。(P.4～8 ページ)

■ 取り付け方

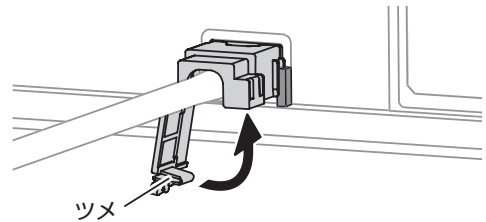
- (1) 本機後面の AC 入力端子 (AC IN ~) と電源コードのコネクタの形状を確認し、向きを合わせてしっかりと奥まで差し込む



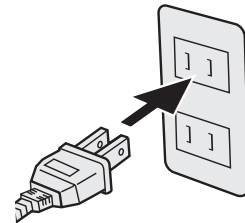
- (2) 本機 AC 入力端子部の上からガイドに沿って、「電源コード抜け防止カバー」を取り付ける



- (3) 「電源コード抜け防止カバー」のツメがカチッと音がするまで押し込み取り付ける



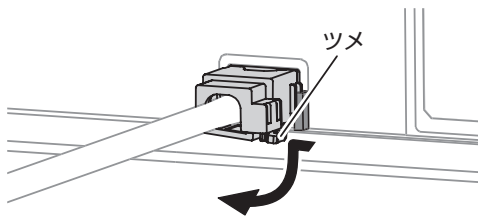
- (4) 電源プラグをコンセントに差し込む



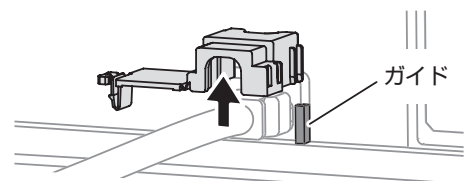
■ 取り外し方

- (1) 電源ボタンの「電源モニター」が赤色に点灯していることを確認し、コンセントから電源プラグを抜く

- (2) 「電源コード抜け防止カバー」のツメを押し下げて外す



- (3) 「電源コード抜け防止カバー」を本機 AC 入力端子部のガイドに沿って上に取り外す



- (4) 本機の AC 入力端子 (AC IN ~) から電源コードのコネクタを抜く

■ ダイレクトパワーオフ機能

本機は、映像を投写中に電源プラグを抜いても、内部電源により冷却ファンが回転し、ランプの冷却を行います。

お願い：

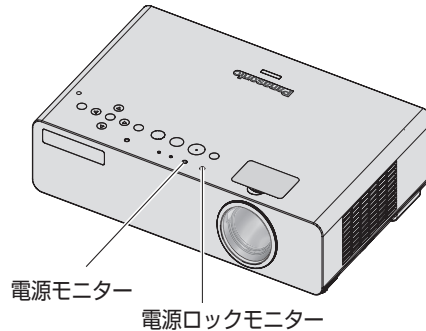
- 「電源モニター」がオレンジ色に点灯している間は、キャリングバッグ等に入れないでください。

■ ダイレクトパワーオン機能

「本体設定」メニューの「ダイレクトパワーオン」を「オン」に設定していると、電源プラグをコンセントに差し込むだけで投写を開始します。(P.39 ページ)

電源ロックモニター、電源モニターについて

本体電源のロック状態と電源の状態を表示します。「電源ロックモニター」と「電源モニター」の状態をよく確認し、操作してください。



■ 電源ロックモニター

点灯状況		本機の状態
消灯		電源プラグが接続されていない状態または、電源プラグを接続した状態で本体電源ボタンのロックが解除されている状態
赤色	点灯	本体電源ボタン無効状態 ※「ランプモニター」、「温度モニター」点滅時は動作しません (P.44 ページ)
	点滅	本体電源ボタン無効通知 (電源ボタンがロックされた状態で、電源ボタンを押した時) ※「ランプモニター」、「温度モニター」点滅時は動作しません (P.44 ページ)

■ 電源モニター

点灯状況		本機の状態
消灯		電源プラグが接続されていない状態
赤色	点灯	電源オフ状態 (スタンバイ状態) 電源ボタンで映像を投写します ※「ランプモニター」、「温度モニター」点滅時は動作しません (P.44 ページ)
	点滅	電源オフ状態 (ネットワークスタンバイ状態)
緑色	点滅	投写準備状態 しばらくすると映像を投写します
	点灯	投写状態
オレンジ色	点灯	電源オフ準備状態 しばらくすると電源オフ状態 (スタンバイ状態) になります
	点滅	電源オフ準備状態中に電源ボタンを押した状態 しばらくすると映像を投写します

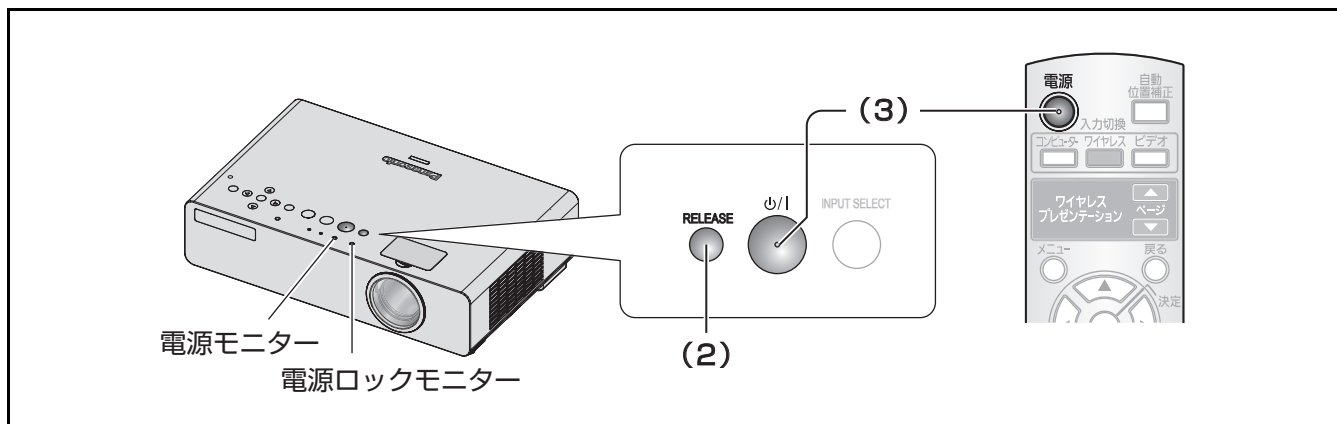
お知らせ:

- 電源オフ準備状態 (「電源モニター」がオレンジ色に点灯) は、内部ファンが回転し、本機を冷却中です。
- 電源オフ準備状態に、電源ボタンを押したときは、投写状態になるまで時間がかかる場合があります。
- 電源オフ状態 (「電源モニター」が赤色に点灯) でも約 3.0 W の電力を消費しています。

電源を入れる / 切る (つづき)

電源を入れる

電源を入れる前に機器の接続を確認してください。(☞ 18 ページ)



(1) 本機に電源コードを接続する

(☞ 20 ページ参照)

「電源ロックモニター」と「電源モニター」が赤色に点灯します。

(2) 「リリース」ボタンを押して本体電源ボタンのロックを解除する

「電源ロックモニター」が消灯します。

- リモコンで操作する場合は、「リリース」ボタンを押す必要はありません。

(3) 電源ボタンを押す

本体電源ボタンを押すと、操作音(ピープ音)がなります。

(リモコンの電源ボタンではなりません。)

- 「電源モニター」が緑色に点滅し、しばらくすると点灯に変わり、「スタートアップロゴ」が投写されます。
「スタートアップロゴ」については「本体設定」メニューの「スタートアップロゴ」をご覧ください。
(☞ 37 ページ)

お願い:

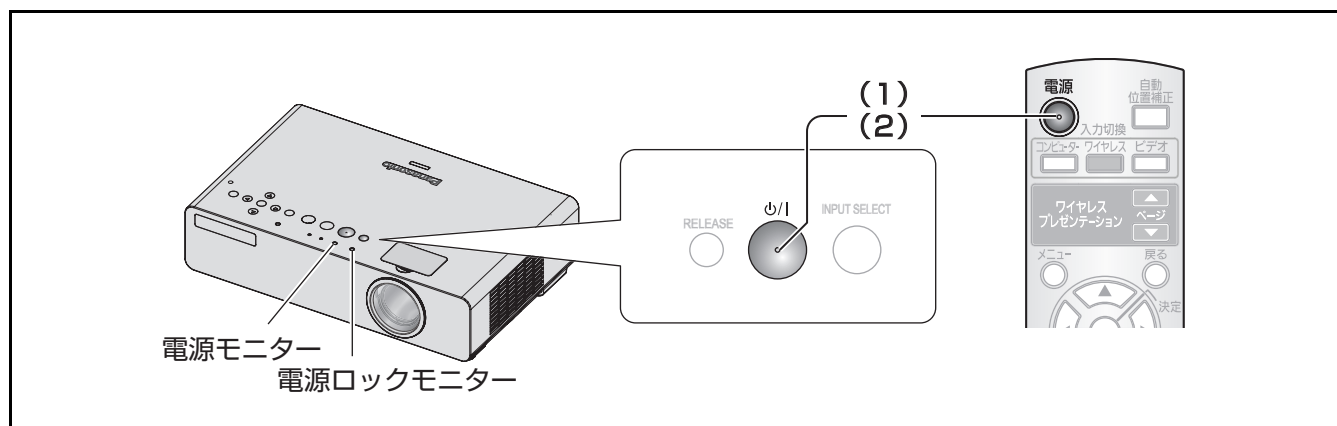
- 本体のボタン操作は、素手で確実に押してください。手袋や軍手の着用時やバンソウコウをした状態では、ボタンが反応しない場合があります。

お知らせ:

- 本体で操作する場合は、「本体設定」メニューの「本体ボタン操作」が「有効」になっていることを確認してください。(☞ 39 ページ)
- 本体電源ボタンがロックされた状態で本体電源ボタンを押しても動作しません。
- 「リリース」ボタンを押した後、10秒以内に本体電源ボタンを押さないと、「電源ロックモニター」が赤色に点灯し、ロックがかかります。再度「リリース」ボタンを押してロックを解除してください。
- ランプ点灯時に「チリチリ」という音がしますが、これは故障ではありません。
- 映像投写中は、冷却ファンが回転し、動作音がします。また、外気温によっては動作音が変わることがあり、ランプ点灯時には、動作音が大きくなります。
- 「本体設定」メニューの「ダイレクトパワーオン」を「オン」に設定していると、電源プラグをコンセントに差し込むだけで投写を開始します。(☞ 39 ページ)
- ランプ消灯直後に再び点灯を行った場合、ランプの特性上投写開始後少しの間、映像がチラつく場合がありますが、これは故障ではありません。

電源を切る

「電源モニター」の状態をよく確認し、操作してください。(☞21 ページ)



(1) 電源ボタンを押す

画面に電源オフ確認画面が表示されます。

- 電源ボタン以外のボタンを押すか、約 10 秒たつと「電源オフ」確認画面が消えます。

(2) もう一度、電源ボタンを押す

ランプが消え、映像の投写が停止します。

- 冷却ファンは回転したまま「電源モニター」がオレンジ色に点灯します。「電源ロックモニター」と「電源モニター」が赤色に点灯するまでお待ちください。
- ネットワークスタンバイ時は、「電源モニター」は赤色点滅します。

(3) 「電源ロックモニター」と「電源モニター」が赤色に点灯したら、電源プラグをコンセントから抜く

- お急ぎの場合は、「ダイレクトパワーオフ機能」により、電源プラグをすぐにコンセントから抜くことができます。(☞20 ページ)

お知らせ：

- 本体で操作する場合は、「本体設定」メニューの「本体ボタン操作」が「有効」になっていることを確認ください。(☞39 ページ)
- 電源ボタンを 0.5 秒以上押しでも電源を切ることができます。

投写する

外部機器の接続（☞18、19ページ）、電源コードの接続（☞20ページ）を確認し、電源を入れる（☞22ページ）と投写を開始します。投写する映像を選択し、投写の映り具合を調整してください。

投写する映像を選択する

1) 接続機器の電源を入れる

DVD プレーヤー等、接続機器の再生を行ってください。「本体設定」メニューの「**入力検出**」が「オン」の場合は、本機の電源を入れたとき、自動的に入力中の信号を検出し投写します。（☞39ページ）

- 「本体設定」メニューの「**入力ガイド**」を「詳細表示」に設定し、本機が入力信号を検出できないときは、PC 接続時のヘルプ画面が表示されます。（☞37ページ）

2) 映像の入力を切り換える

「入力切換」ボタンで選択した映像が投写されます。（☞25ページ）

お願い：

- 接続機器や再生する DVD、ビデオテープなどによっては、「映像調整」メニューの「**詳細設定**」で「TV システム」を設定してください。（☞33ページ）
- 投写するスクリーンと映像のアスペクト比を確認し、最適なアスペクト比に切り換えてください。（☞35ページ）

映像の映り具合を調整する

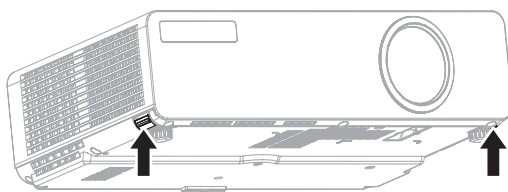
はじめて設置される時や、場所を変えて設置される時は、つづけて下記の調整を行ってください。

(1) 投写角度を調整する

- 本機はスクリーンに対して垂直になるよう設置してください。

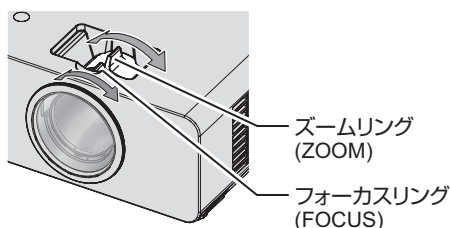


- アジャスターボタンを押しながら、アジャスター脚を上下に調整します。その後、投写映像がスクリーン中央にくるように調整してください。



2) 投写サイズとフォーカスを調整する

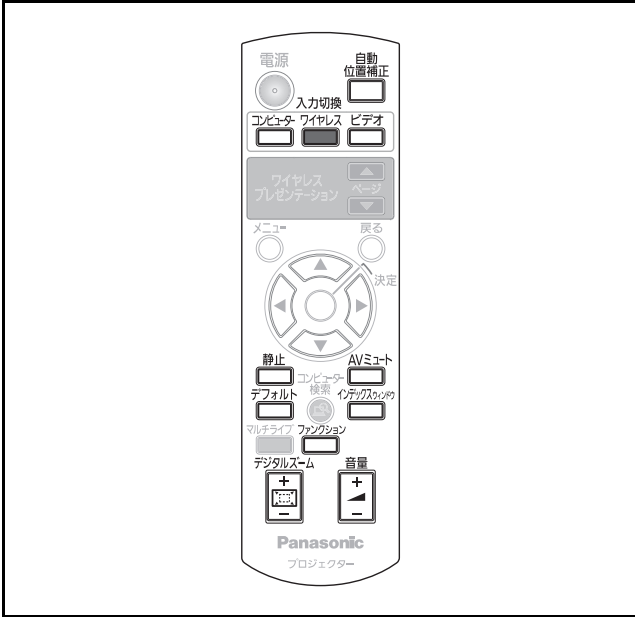
- 「レンズ操作ふた」を取り外し（☞14ページ）、「ズームリング」と「フォーカスリング」を回して調整します。ズーム・フォーカス調整後、必ず「レンズ操作ふた」を取り付けてください。



お知らせ：

- 「ズームリング」を回すと、投写サイズが変わるので「フォーカスリング」を回して、再度フォーカスを微調整します。
- 台形ひずみが発生している場合は、「位置調整」メニューの「**台形補正**」を行ってください。（☞34ページ）

リモコンで操作する



映像を一時的に静止させる

外部機器の再生に関係なく一時的に投写映像は静止し、音声は消えます。

静止 を押す



もう一度押すと解除されます。

映像・音声を一時的に消す

一定時間だけ本機を使用しない場合に、映像と音声を一時的に消します。

AVミュート を押す



もう一度押すと解除されます。

入力信号を切り換える

投写する入力信号を切り換えることができます。

■ コンピューター

コンピューター を押す



ボタンを押すごとに切り換わります。

COMPUTER1	コンピューター1入力端子に接続した信号
COMPUTER2	コンピューター2入力端子に接続した信号

■ ワイヤレス (PT-LB80NT/PT-LB75NT のみ)

ワイヤレス を押す



WIRELESS	コンピューターからワイヤレスを使って「Wireless Manager」で送信する信号 (☞ 43 ページ)
----------	--

■ ビデオ

ビデオ を押す



ボタンを押すごとに切り換わります。

S-VIDEO	Sビデオ入力端子に接続した信号
VIDEO	ビデオ入力端子に接続した信号

「本体設定」メニューの「入力ガイド」を「詳細表示」(☞ 37 ページ) にしているとき、画面右上部に入力端子のグラフィックが表示され、選択中の入力端子を確認できます。(選択中の入力端子は黄色で強調されます。)

このとき ▲▼◀▶ ボタンでも入力を切り換えることができます。

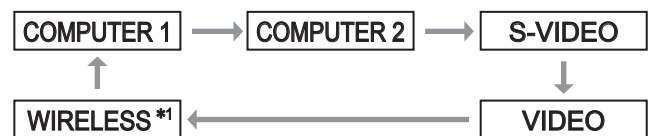
入力切り換え操作をしてから、映像が切り換わるまで、時間がかかる場合があります。

お願い：

- 「対応信号リスト」で記載している信号を入力してください。(☞ 50 ページ)

お知らせ：

- 「本体設定」メニューの「COMPUTER 2 入出力選択」を「出力」に設定しているときは、COMPUTER 2 入力を選択することはできません。(☞ 38 ページ)
- 入力端子については「接続する」をご覧ください。(☞ 18 ページ)
- 操作をしなければ入力ガイドの表示は自動的に消えます。
- 本体操作部で「INPUT SELECT」を押すと下記の順に切り換わります。(☞ 14 ページ)

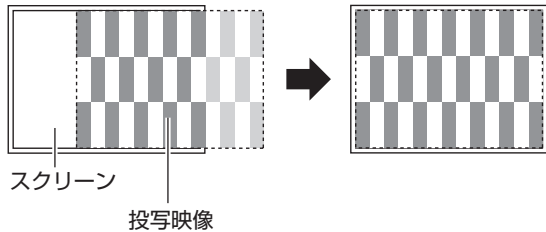


* 1 : PT-LB80NT/PT-LB75NT のみ

リモコンで操作する(つづき)

表示位置を自動補正する

RGB 信号入力時「表示位置」、「ドットクロック」、「クロックフェーズ」を自動補正することができます。



お知らせ:

- 入力検出も実行されます。(「入力検出」を「オン」に設定時) (P.39 ページ)
- ドットクロック 108MHz を超える信号を入力した場合「ドットクロック」、「クロックフェーズ」は、自動設定されません。(P.34 ページ)
- 画面の端が判らないような信号や暗い画面を入力して「自動補正」を動作させると自動的に処理が中断されることがあります。このような場合は、別の画面に切り換えてから、もう一度「自動位置補正」ボタンを押してください。

出荷状態に戻す

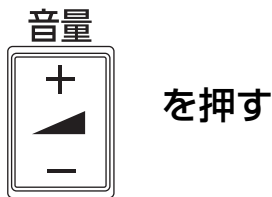
サブメニューの設定・調整の値を工場出荷状態に戻します。



- 詳しくは、「オンスクリーンメニューについて」の「メニュー画面の操作方法—調整値を工場出荷時の状態に戻す」をご覧ください。(P.30 ページ)

音量を調整する

内蔵スピーカーまたは、音声出力の音量を調整することができます。



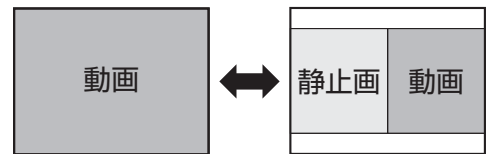
- + ボタン……音量を大きくする
- - ボタン……音量を小さくする

インデックスウィンドウで表示する

投写中の画面をメモリーに記録し、静止画と動画を2画面表示することができます。



「戻る」ボタンを押すと解除されます。インデックスウィンドウを押したときの画面が静止画になります。



インデックスウィンドウ表示中のボタン機能

▲▼ ボタンで画面サイズを設定する (3段階に切り換えることができます。)	◀▶ ボタンで左右の静止画と動画を入れ換える

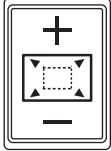
お知らせ:

- 画面のアスペクト比が変わり、映像が通常より縦長になります。
- 画面サイズを切り換えると映像のアスペクト比が変わります。(P.35 ページ)
- 「決定」ボタンで静止画が更新されます。
- 動きの早い映像で「インデックスウィンドウ」を動作させた場合、静止画が乱れることがあります。

映像を拡大する

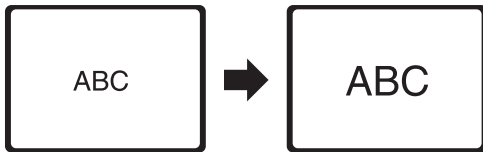
入力画面の中心を拡大して表示することや、拡大した表示部分を移動することができます。

デジタルズーム



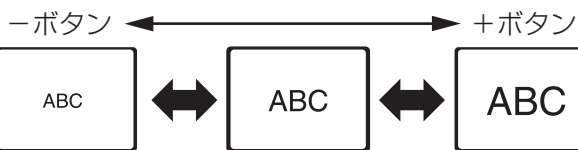
を押す

「戻る」ボタンを押すと解除されます。

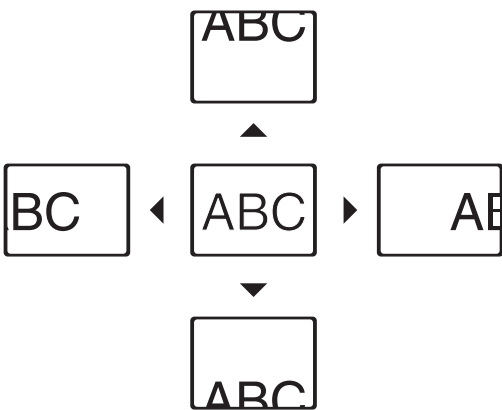


■ デジタルズーム中のボタン機能

+ ボタン……倍率を上げます
- ボタン……倍率を下げます



▲▼ ボタン…上または、下へ表示位置が移動します
◀▶ ボタン…左または、右へ表示位置が移動します



お知らせ：

- 倍率は、1.0 倍から 2.0 倍まで 0.1 ごとに調整できます。また、RGB 信号入力時に「位置調整」メニューの「フレームロック」が「オフ」の場合 1.0 倍から 3.0 倍まで、「オン」の場合 1.0 倍から 2.0 倍まで調整できます。(P.36 ページ)
- デジタルズーム中に入力信号の種類が変わると、デジタルズーム機能が解除されます。
- デジタルズーム中に「静止」はできません。

ファンクションボタンを使用する

よく使う操作を割り当てショートカットボタンとして使用することができます。

ファンクション  を押す

● 「ファンクション」ボタンに割り当て可能な操作

AV ミュート	AV ミュート機能が動作する
静止	静止機能が動作する
自動位置補正	自動位置補正機能を開始する
インデックスウィンドウ	インデックスウィンドウ機能が動作する
アスペクト	映像の縦横比 (アスペクト比) を切り換える
映像モード	映像モードを切り換える

お知らせ：

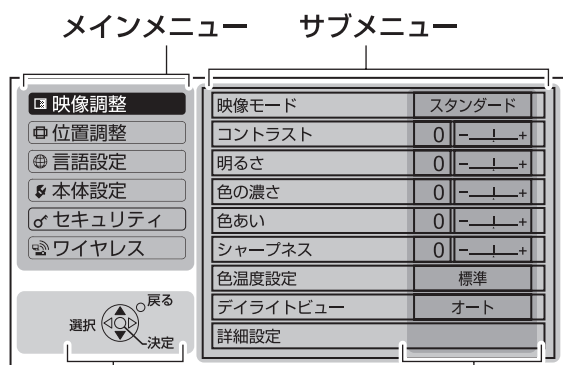
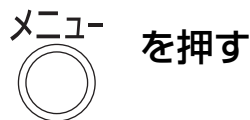
- 「ファンクション」ボタンに操作を割り当てるには、「本体設定」メニューの「ファンクションボタン」をご覧ください。(P.40 ページ)

オンスクリーンメニューについて

本機の各種設定や調整はオンスクリーンメニューを使用します。オンスクリーンメニュー操作については、「メニュー画面の操作方法」をご確認ください。(P.30 ページ)

オンスクリーンメニュー

オンスクリーンメニューが表示されます。オンスクリーンメニューは、メインメニューとサブメニューで構成されています。



操作ガイド

現在の設定値

各メニューの操作方法が表示されます。

メインメニュー

メインメニューには以下の6つの項目があります。メインメニューを選択するとサブメニューの選択画面に移ります。

	映像調整
	位置調整
	言語設定
	本体設定
	セキュリティ
	ワイヤレス

サブメニュー

選択したメインメニューのサブメニューが表示され、各項目の設定・調整ができます。

■ 映像調整 []

項目の詳細 (P.31 ~ 33 ページ参照)

● Sビデオ/ビデオ/YPbPr 信号入力時

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
映像モード	スタンダード	31
コントラスト	0	31
明るさ	0	31
色の濃さ	0	31
色あい	0	31
シャープネス	0	32
色温度設定	標準	32
デイルイトビュー	オート	32
詳細設定 ^{*1}		33

● RGB/ワイヤレス信号入力時

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
映像モード	ダイナミック	31
コントラスト	0	31
明るさ	0	31
シャープネス	0	32
色温度設定	標準	32
デイルイトビュー	オート	32
詳細設定 ^{*2}		33

*1 : Sビデオ/ビデオ入力時のみ

*2 : RGB 信号入力時のみ

お知らせ :

● 映像モードによって工場出荷時の値が異なります。

オンスクリーンメニューについて (つづき)

■位置調整 [📏]

項目の詳細 (📖 34 ~ 36 ページ参照)

● Sビデオ/ビデオ信号入力時

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
リアルタイム台形補正	オン	34
台形補正	0	34
表示位置	0	34
アスペクト *1	4 : 3	35

*1 : 信号によって「オート」になります

● RGB/YPbPr 信号入力時

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
リアルタイム台形補正	オン	34
台形補正	0	34
表示位置	0	34
ドットクロック *1	0	34
クロックフェーズ	0	35
アスペクト *2*3	4 : 3	35
フレームロック *1	オフ	36

*1 : RGB 信号入力時のみ

*2 : 信号によって設定が有効 / 無効になります

*3 : 信号によって「オート」になります

● ワイヤレス信号入力時

(PT-LB80NT/PT-LB75NT のみ)

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
リアルタイム台形補正	オン	34
台形補正	0	34

■言語設定 [🌐]

項目の詳細 (📖 36 ページ参照)

■本体設定 [🔧]

項目の詳細 (📖 37 ~ 41 ページ参照)

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
入力ガイド	詳細表示	37
スタートアップロゴ	オン	37
COMPUTER2 入出力選択	入力	38
RGB/YPbPr	オート	38
ワイドモード	オフ	38
ランプパワー	標準	38

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
ランプ使用時間	—	38
電源オフタイマー	オフ	38
ダイレクトパワーオン	オフ	39
本体ボタン操作	有効	39
自動位置補正	オート	39
入力検出	オン	39
設置方法	フロント / 床置き	39
高地モード	オフ	39
ファンクションボタン	AV ミュート	40
テストパターン	—	40
詳細設定		41

■セキュリティ [🔒]

項目の詳細 (📖 42 ページ参照)

サブメニュー項目	工場出荷時
パスワード設定	オフ
パスワード変更	—
テキスト設定	オフ
テキスト変更	—

■ワイヤレス [📶]

項目の詳細 (📖 43 ページ参照)

(PT-LB80NT/PT-LB75NT のみ)

サブメニュー項目	工場出荷時
ネットワーク	1
プロジェクター名変更	—
パスワード設定	オフ
パスワード変更	—
ネットワークスタンバイ	オフ
WEB 制御	オン
ライブモード割り込み	オフ
ステータス	—
初期化	—

お知らせ :

- サブメニューの項目および、工場出荷時の値は、入力端子の選択および入力信号により表示が異なります。

オンスクリーンメニューについて (つづき)

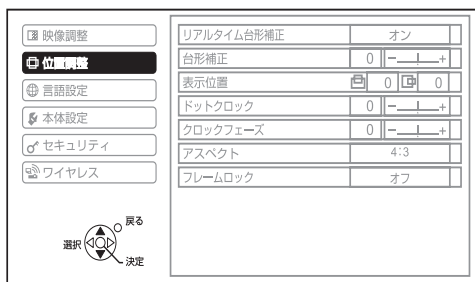
メニュー画面の操作方法

■ 操作の手順

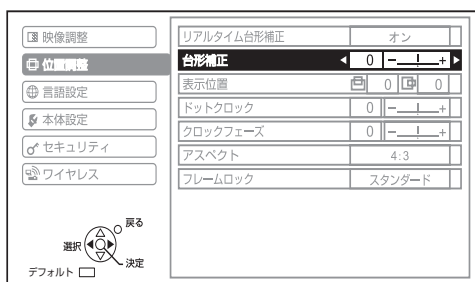
- 1) 「メニュー」 ボタンを押す
メインメニューが表示されます。



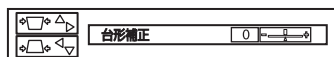
- 2) ▲▼ ボタンを押してメインメニュー項目を選ぶ
「映像調整」「位置調整」「言語設定」「本体設定」「セキュリティ」「ワイヤレス」の6つの項目から調整したい項目を選んでください。選択中の項目はオレンジ色のカーソルで示され、選択した項目のサブメニューが右側に表示されます。



- 3) 「決定」 ボタンを押す
サブメニューが表示され、サブメニューの項目を選択できるようになります。



- 4) ▲▼ ボタンを押して変更したいサブメニューの項目を選び、◀▶ を押して設定の切り換えや調整を行う
設定を切り換える項目とバースケールのある項目では、メニュー画面が消え、下図のように選択中の項目（個別調整画面）のみが表示されます。



項目名だけの項目は、「決定」ボタンを押すと、次の画面が表示され、詳細な設定ができます。

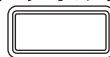
お知らせ：

- メニュー画面が表示されている状態で「戻る」ボタンまたは、「メニュー」ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 入力される信号によって、調整できない項目や使用できない機能があります。
- 信号が入力されていない場合でも、調整できるものがあります。
- 操作をしなければ個別調整画面の表示は約5秒で消えます。
- サブメニューの項目については28、29ページをご覧ください。
- 「ワイヤレス」の項目は、PT-LB80NT/PT-LB75NTのみです。

■ 調整値を工場出荷時の状態に戻す

リモコンの「デフォルト」ボタンを押すと、メニュー項目で調整した値が工場出荷時の状態に戻ります。

デフォルト を押す



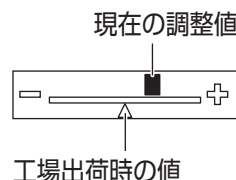
表示されている画面によって動作が異なります。

- サブメニュー画面表示時
表示されているサブメニューの項目が工場出荷時の状態に戻ります。
- 個別調整画面表示時
調整中の項目のみ工場出荷時の状態に戻ります。



お知らせ：

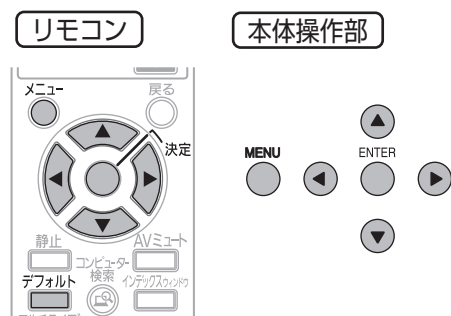
- 全ての設定を一括に工場出荷時の状態には戻せません。
メニュー項目で調整した値を工場出荷時の状態に戻すには、「本体設定」メニューの「詳細設定」で「全設定初期化」をご覧ください。(P.41 ページ)
- 「デフォルト」ボタンを押しても、工場出荷時の状態に戻らない項目もあります。それらの項目は個別に操作してください。
- 個別調整画面のバースケールの下の三角マークは、工場出荷時の値を示しています。
また、三角マークは、入力される信号によって位置が異なります。



「映像調整」メニューについて

「メニュー画面の操作方法」(P.30 ページ) のメインメニューから「映像調整」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで映像の調整を行ってください。



映像モード

ご覧になる映像や視聴環境に合わせて最適な映像に設定することができます。



ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。



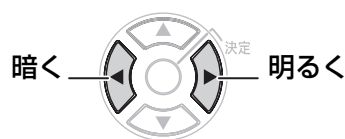
ナチュラル	暗い部屋でご覧になる場合
スタンダード	標準的な明るさでご覧になる場合
ダイナミック	より明るく、くっきりした画質でご覧になる場合
黒板	黒板に投写する場合

お知らせ:

- 映像モードを切り換えた時に、映像が安定するまで数秒かかる場合があります。
- 「本体設定」の「詳細設定」で「黒板モード」が「オフ」の時、「黒板」表示はスキップされます。

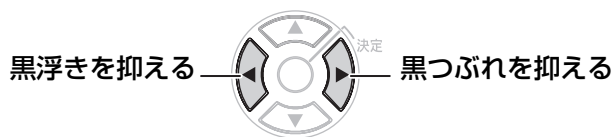
コントラスト

色の明暗度を調整します。



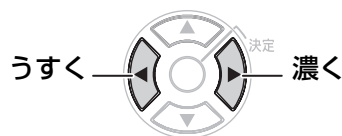
明るさ

画面の暗い部分（黒色）を調整します。



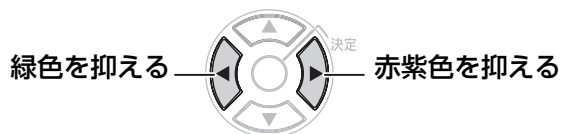
色の濃さ

[S ビデオ / ビデオ / YPBPR 信号入力時のみ]
色の濃さを調整します。



色あい

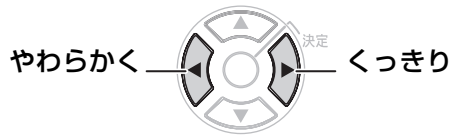
[S ビデオ / ビデオ / YPBPR 信号入力時のみ]
肌色の部分を調整します。



「映像調整」メニューについて(つづき)

シャープネス

映像のシャープ感を調整します。



お知らせ:

- 設定可能範囲は入力信号によって異なります。

色温度設定

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に切り換えます。



標準	標準的な設定
高	映像の白色部分を青みがからせたい場合
低	映像の白色部分を赤みがからせたい場合

デイライトビュー

明るい照明下で映像を投写する場合でも、映像を最適な鮮やかさに補正します。



オート	周囲の明るさにより自動調整
オン	デイライトビュー有効
オフ	デイライトビュー無効

お知らせ:

- プロジェクターの上面に物などを置くと「オート」モードが正常に動作しない場合があります。
- 「デイライトビュー」は「本体設定」の「設置方法」で「リア/床置き」または、「リア/天つり」を選択した場合、「オート」は設定できません。

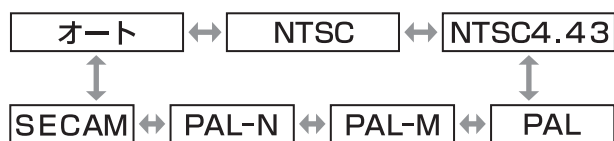
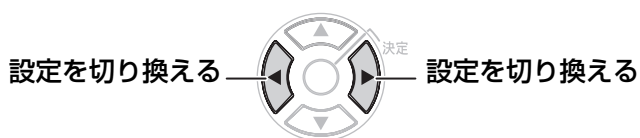
「映像調整」メニューについて (つづき)

詳細設定

映像全体の画質を細かく設定できます。「決定」ボタンを押すと「詳細設定」メニューが表示されます。

■ TV システム

[Sビデオ / ビデオ信号入力時のみ]
入力信号に合ったカラー方式を設定します。



お願い:

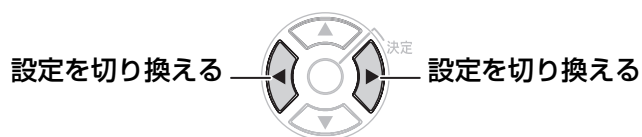
- 通常は「オート」に設定してください。
- 「オート」で正常に映らない場合は、それぞれのテレビの信号方式に設定を切り換えてください。日本国内では、NTSC (参照 57 ページ) のテレビの信号方式が使われています。

お知らせ:

- 「オート」は、NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL60/PAL-N/SECAMの中から自動的に判別します。

■ 静止画モード

[Sビデオ / ビデオ信号入力時のみ]
静止画のちらつき (垂直方向のゆれ) をおさえた場合設定します。



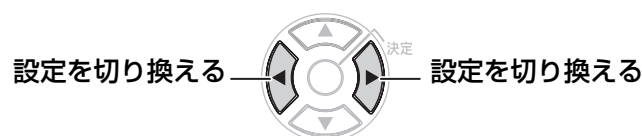
オン	静止画モード有効
オフ	静止画モード無効

お願い:

- 動画をご覧になる場合は、「オフ」に設定してください。

■ ノイズリダクション

[Sビデオ / ビデオ信号入力時のみ]
入力信号が劣化しているときに生じるノイズを除去することができます。



オン	ノイズリダクション有効
オフ	ノイズリダクション無効

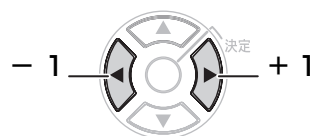
お願い:

劣化が少ない入力信号に「ノイズリダクション」を「オン」に設定すると、映像がイメージと異なる場合があります。その場合は「オフ」に設定してください。

■ ホワイトバランス

[RGB 信号入力時のみ]
映像の白色部分に色が付いているような場合に調整します。

▲▼ ボタンで項目を選択します。

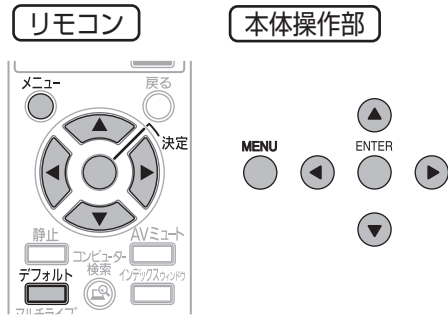


アドバンスドメニュー項目	工場出荷時
ホワイトバランス 赤	0
ホワイトバランス 緑	0
ホワイトバランス 青	0

「位置調整」メニューについて

「メニュー画面の操作方法」(P.30 ページ) のメインメニューから「位置調整」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。

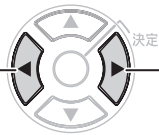
- 項目を選んだら ◀▶▲▼ ボタンで調整を行ってください。



リアルタイム台形補正

本機は、設置時の傾きを検知し自動的に台形ひずみを補正することができます。

設定を切り換える



オン	リアルタイム台形補正有効
オフ	リアルタイム台形補正無効

台形補正

本機には、設置時の傾きに合わせて自動的に台形ひずみを補正する機能（リアルタイム台形補正）がありますが微妙に傾けた場合やゆっくりと傾けた場合、または、スクリーンが傾いている場合は、台形ひずみを正しく補正できない場合があります。このような場合は、「リアルタイム台形補正」を「オフ」に設定して下の手順で手動で台形ひずみを補正してください。

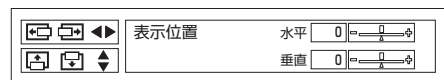
画面の状態	操作

お知らせ：

- 台形ひずみは、縦方向の傾きに対して ± 30 度まで補正できます。ただし、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるように調整してください。
- 台形補正を行うと画面サイズも変化します。
- メニュー画面に台形補正は機能しません。
- 補正量、レンズズーム量によっては、画面サイズの縦横比がずれる場合があります。

表示位置

[S ビデオ / ビデオ / RGB / YPbPr 信号入力時のみ]



水平：映像を左右に調整します。



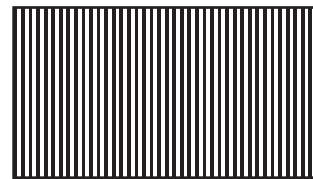
垂直：映像を上下に調整します。



ドットクロック

[RGB 信号入力時のみ]

縦縞模様を投写した時に発生するノイズを軽減する場合に調整します。下記のような縞模様を投写した場合に、周期的な縞模様（ノイズ）が発生する場合があります。この場合に ◀▶ ボタンでもっともノイズが少なくなるように調整してください。



お願い：

- 「クロックフェーズ」より先に調整してください。

「位置調整」メニューについて (つづき)

クロックフェーズ

[RGB/YPbPr 信号入力時のみ]

「ドットロック」調整後さらにノイズを軽減させることができます。

◀▶ ボタンでもっともノイズが目立たなくなるように調整してください。

お知らせ:

- ドットクロック周波数が 108 MHz を超える信号を投写する場合、「ドットクロック」や「クロックフェーズ」を調整してもノイズがなくなる場合があります。(P.50 ページ)

アスペクト

映像の縦横比 (アスペクト比) を切り換えます。入力する信号によって下図のように切り換わります。



お願い:

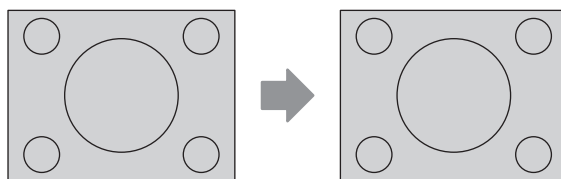
- アスペクト比 4:3 の映像を 16:9 で投写すると、周辺の画面が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重した映像は、アスペクト比 4:3 でご覧ください。

お知らせ:

- 入力している信号と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト比の切り換えを利用し、画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがあります。
- 入力信号によって設定できる内容が異なります。

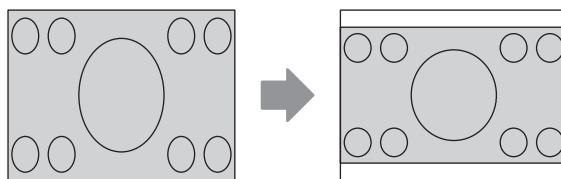
■ 4:3

入力信号を 4:3 で投写します。



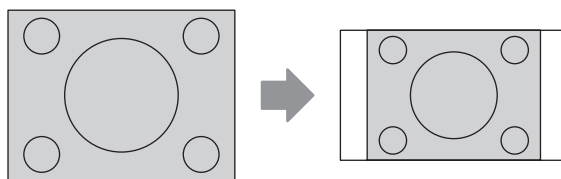
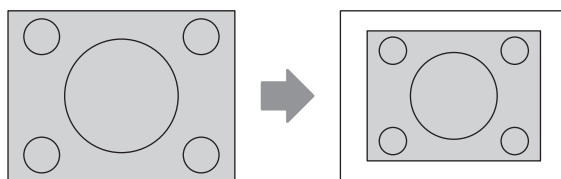
■ 16:9

アスペクト比を 16:9 にして投写します。



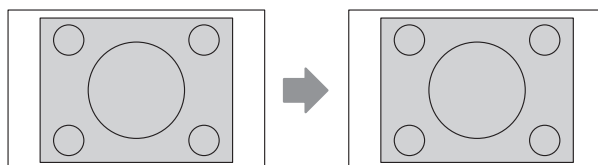
■ S4:3

入力信号のサイズを 75% に圧縮して投写します。(16:9 スクリーンに 4:3 映像を投写する場合に有効です。)



■ 等倍

入力信号の解像度のまま投写します。



■ オート

入力信号にアスペクト比の識別信号が含まれている場合、自動的に最適なアスペクト設定に切り換え、投写します。

「位置調整」メニューについて(つづき)

フレームロック

[RGB 信号入力時のみ]

一部の RGB 信号で設定可能になります。動画再生時に映像が乱れる場合に設定してください。

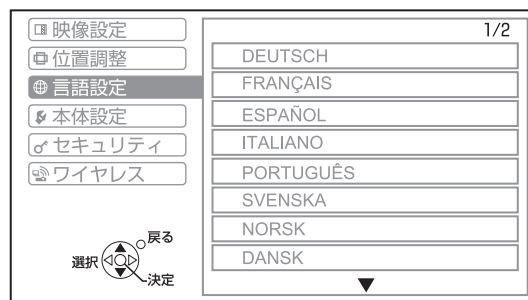
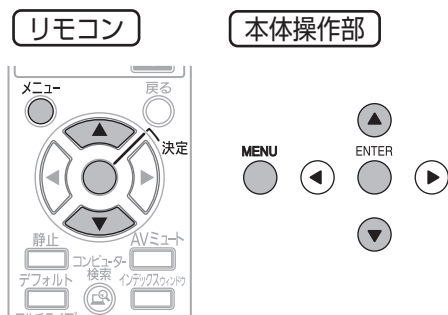


オン	フレームロック有効
オフ	フレームロック無効

「言語設定」メニューについて

「メニュー画面の操作方法」(P.30 ページ) のメインメニューから「言語設定」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ▲▼ ボタンで選択し、「決定」ボタンで言語の設定を行ってください。

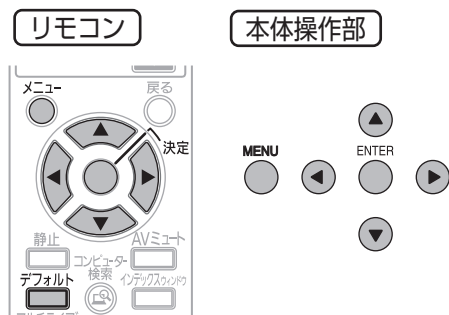


設定している言語に表示されます

「本体設定」について

「メニュー画面の操作方法」(P.30 ページ)のメインメニューから「本体設定」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。

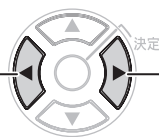
- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで設定を行ってください。



スタートアップロゴ

電源を入れたときに「Panasonic」ロゴを表示するのかが設定します。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える



オン	スタートアップロゴ有効
ユーザー	テキストを表示
オフ	スタートアップロゴ無効

お知らせ：

- 「ユーザー」項目を選択すると、入力できる文字数は1行に40文字まで、2行まで入力設定ができ、入力された文字がスタートアップ時に表示されません。
- スタートアップロゴは、約30秒で消えます。

■ ユーザー設定

- 1) ◀▶ ボタンで「ユーザー」を選択し「決定」ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンで項目を選び、「決定」ボタンを押す
 - 「テキスト1」に1行目に表示したい文字を、「テキスト2」に2行目に表示したい文字を入力します。



- 3) ▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、「決定」ボタンを押し、入力していく
 - 「全削除」を選ぶと入力した文字の全てを削除できます。リモコンの「デフォルト」ボタンを押すと、入力ボックス内のカーソルで選択されている1文字を消去できます。

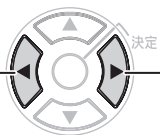


- 4) 「確定」を選び「決定」ボタンを押す
- 5) サブメニュー項目で「確定」を選び、「決定」ボタンを押す
 - 中止する場合「キャンセル」を選んでください。

入力ガイド

画面右上に現在選択している入力端子名を表示するのかが設定します。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える



詳細表示	入力端子をグラフィック表示
オフ	入力ガイド無効
簡易表示	入力端子名のみ表示

お知らせ：

- 「詳細表示」に設定すると、コンピューター1入力端子 / コンピューター2入力端子に信号が入力されていない場合、下記のヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面を表示させたくない場合は、「簡易表示」または、「オフ」に設定してください。

■ コンピューター接続時のヘルプ画面について

コンピューター側の映像出力の切り換えコマンドについては、下記の表をご覧ください。

メーカー	映像出力切り換えコマンド	メーカー	映像出力切り換えコマンド
Panasonic NEC	Fn + F3	DELL EPSON	Fn + F8
HP SHARP TOSHIBA	Fn + F5	FUJITSU	Fn + F10
IBM SONY	Fn + F7	Apple	F7
		その他	Fn + □

お知らせ：

コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューターに付属の説明書をご覧ください。

「本体設定」について (つづき)

COMPUTER2 入出力選択

コンピューター 2 入力 / 1 出力端子で信号を入力するか、出力するかを設定します。



入力	COMPUTER 2 IN に設定
出力	COMPUTER 1 OUT に設定

RGB/YPbPr

通常は「オート」に設定してください。「オート」で正常に映らない場合は入力する信号に合わせて「RGB」「YPbPr」を設定してください。



オート	同期信号により、RGB/YPbPr 信号を自動的に選択します。
RGB	RGB 信号を入力するとき設定してください。
YPbPr	YPbPr 信号を入力するとき設定してください。

お知らせ：

- 一部の信号入力時のみ有効となります。
(VGA60, 480i, 576i, 480p, 576p, 1 080/60i, 1 080/50i, 720/60p, 720/50p)
コンピューター 1 入力端子とコンピューター 2 入力 / 1 出力端子に入力する信号を選択します。

ワイドモード

ワイド信号 (16 : 9、16 : 10、15 : 9) を入力する場合に設定します。



オフ	4 : 3 の信号を入力する場合
オン	ワイド信号を入力する場合

ランプパワー

ランプの明るさを切り換えます。



標準	高輝度の映像をお楽しみいただけます。
エコモード	輝度が下がりますが電力の節約、動作音の低減、ランプの寿命を延ばすことができます。

お知らせ：

- 信号が入力されていない場合は、設定できません。
- 狭い会議室など高い輝度を必要としない場合や、映画などをご覧になる場合は「エコモード」に設定されることをおすすめします。

ランプ使用時間

ランプの使用時間を表示します。

お願い：

- ランプを交換する場合は、「ランプユニットの交換手順」(P47 ページ) にしたがって交換してください。

お知らせ：

- ランプの使用時間が 2 800 時間に達すると、赤色とグレーで交互に表示し交換時期をお知らせします。
- ランプユニットの交換時期を確認してください。(P46 ページ)
- ランプの寿命は使用条件 (電源の入切の回数など) により変わります。

電源オフタイマー

設定時間までに入力信号がないと自動的に本機の電源をスタンバイ状態にします。



オフ	電源オフタイマー無効
15 分 ~ 60 分	5 分間隔で設定可能

「本体設定」について (つづき)

ダイレクトパワーオン

電源プラグをコンセントに差したときの、本機の起動方法を設定します。



オフ	ダイレクトパワーオン無効
オン	電源プラグを接続すると、投写が開始されます

お知らせ:

- 設定に関係なく、ランプ点灯時に電源プラグを抜き差しすると、投写を開始します。

本体ボタン操作

本体操作部のボタン機能を設定します。



有効	本体ボタン操作有効
無効	本体ボタン操作無効

お知らせ:

- 「無効」に設定すると確認画面が表示されますので「はい」を選んでください。「有効」に戻す場合は、リモコン操作で「有効」に設定してください。

自動位置補正

通常は「オート」に設定してください。



オート	投写中の映像信号が RGB 信号に変わったとき、自動位置補正を行ないます
ボタン	「自動位置補正」ボタンを押したときのみ有効 (P.26 ページ)

入力検出

電源を入れたときに、信号が入力されている端子を自動的に検出し、投写するかを設定します。



オン	自動入力検出有効
オフ	自動入力検出無効

お知らせ:

- 投写映像が無信号時のみ機能します。入力信号を投写中は自動的に切り換わりません。

設置方法

本機の設置方法によって切り換えます。(P.17 ページ)



フロント / 床置き	スクリーン前方にある机の上などに設置する場合
フロント / 天つり	スクリーン前方にある天つり金具 (別売品) を使用して設置する場合
リア / 床置き	スクリーン後方 (透過式スクリーン使用) にある机の上などに設置する場合
リア / 天つり	スクリーン後方 (透過式スクリーン使用) に天つり金具 (別売品) を使用して設置する場合

高地モード

海拔 1 400 m 以上の場所でご使用の場合に設定します。



オフ	通常的环境下で使用するとき
オン	高地で使用するとき

お知らせ:

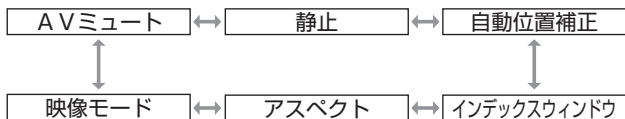
- 「オン」に設定した場合、ファンの回転数が上がり、音が大きくなります。

「本体設定」について (つづき)

ファンクションボタン

本体とリモコンの「FUNCTION」(ファンクション) ボタンによく使う操作を割り当てることで、ショートカットボタンとして使用できます。

- 1) 「ENTER」(決定) ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンで「FUNCTION」(ファンクション) ボタンに設定したい項目を選ぶ



- 3) 「ENTER」(決定) ボタンを押す

AV ミュート	AV ミュート機能を動作させる (☞25 ページ)
静止	静止機能を動作させる (☞25 ページ)
自動位置補正	自動位置補正機能を開始させる (☞26、39 ページ)
インデックス ウィンドウ	インデックスウィンドウ機能を動作させる (☞26 ページ)
アスペクト	映像の縦横比(アスペクト比)を切り換える(☞35 ページ) ● 「FUNCTION」(ファンクション) ボタンを押すと現在選択されているアスペクトが表示されます。 ◀▶ ボタンを押すごとに順次アスペクトが切り換ります。 ● 約5秒間操作しないとアスペクトの表示は消え、確定します。
映像モード	映像モードを切り換える(☞31 ページ) ● 「FUNCTION」(ファンクション) ボタンを押すと現在選択されている映像モードを表示します。 ◀▶ ボタンを押すごとに順次映像モードが切り換ります。 ● 約5秒間操作しないと映像モードの表示は消え、確定します。

テストパターン

「決定」ボタンを押すと、テストパターンが表示されます。7種類のテストパターンが切り換えられます。



「戻る」ボタンまたは、「メニュー」ボタンを押すと、「本体設定」メニューに戻ります。

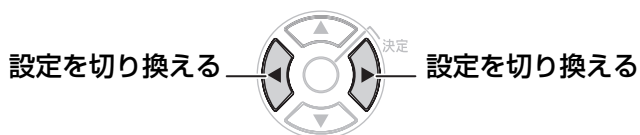
「本体設定」について (つづき)

詳細設定

本機の機能をさらに詳細に設定ができます。

■ OSD デザイン

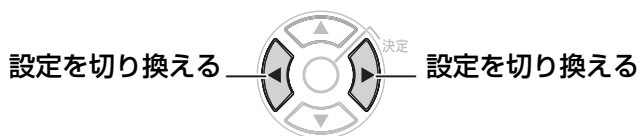
オンスクリーンメニュー (OSD) の背景を設定します。



タイプ 1	背景を半透明の黒色で表示
タイプ 2	背景を青色で表示
タイプ 3	背景を半透明の紺色で表示

■ SXGA モード

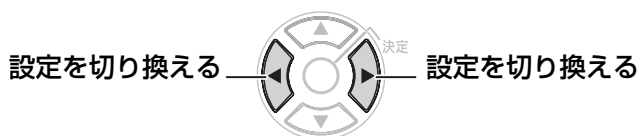
SXGA 入力時に設定します。



SXGA+	通常の場合
SXGA	画面が小さい場合

■ 黒板モード

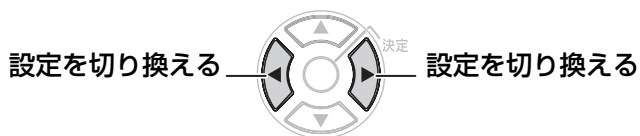
「映像モード」に「黒板」を選択出来るように設定します。



オン	黒板モード表示可能
オフ	黒板モード表示不可

■ バックカラー

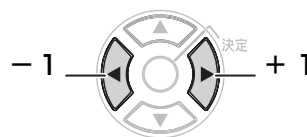
信号が入力されていないときの投写画面の色を設定します。



ブルー	投写画面全体に青色を表示
ブラック	投写画面全体に黒色を表示

■ 音量

内蔵スピーカーまたは、音声出力の音量を調整します。



■ 音声バランス

音声出力の左右の音声バランスを調整します。



■ 全設定初期化

メニュー項目で調整した値を工場出荷時の状態に戻します。

- 「全設定初期化」メニューで「決定」ボタンを押すと、「電源をオフします。よろしいですか？」と表示されます。
表示にしたがって電源を「オフ」にしてください。(このとき、他のキー操作は全て無効となっています。)
- 「全設定初期化」後は、電源プラグを差し直してください。
電源「オン」(ON) 後、「言語設定」、「本体設定」の画面が表示されます。(P.12 ページ)

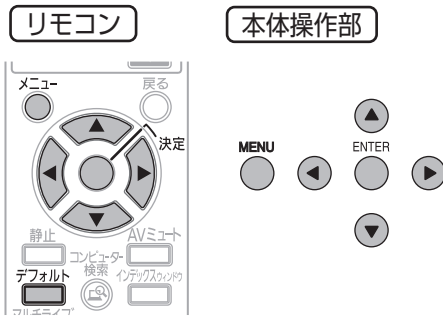
お知らせ:

- 「ランプ使用時間」、「ワイヤレス設定」は初期化されません。
- 「セキュリティ」メニューで「パスワード設定」を「オン」にしている場合、パスワード入力を行ってください。パスワードも工場出荷時の状態に戻ります。

セキュリティ

「メニュー画面の操作方法」(P.30 ページ)のメインメニューから「セキュリティ」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。

- はじめてご使用になる場合初期パスワード「▲▼◀▶」ボタンを順に押し、「決定」ボタンを押してください。
- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで設定を行ってください。



お願い：

- パスワード設定やテキスト設定は、セキュリティ画面を表示してから行ってください。
- 以前にパスワードを変更された場合、変更したパスワードを入力し、「決定」ボタンを押してください。

パスワード設定

電源を入れたときにパスワード入力画面を表示させることができます。



オン	パスワード入力画面表示
オフ	パスワード入力画面非表示

お知らせ：

- お買い上げ時、または全設定初期化にした後は、パスワード設定が「オフ」になっています。
- パスワードは出来るだけ推測されにくいものにして下さい。
- パスワードは定期的に変更して下さい。
- 正しくパスワードを入力しないと電源ボタン以外の操作ができなくなります。

パスワード変更

パスワードを変更することができます。

- 1) ▲▼◀▶ ボタンでパスワードを設定する(最大8つのボタン操作を設定できます。)
- 2) 「決定」ボタンを押す
- 3) 再度パスワードを入力し、「決定」ボタンを押す

お知らせ：

- パスワードを入力しても画面上は、*印で表示されます。
- パスワードを間違えると画面上にエラーメッセージが表示されます。再度パスワードを入力してください。

テキスト設定

投写中の映像の下に常時設定した文字を表示させることができます。



オフ	テキスト設定無効
オン	テキスト設定有効

テキスト変更

「テキスト設定」を「オン」にしたときに表示される文字を変更することができます。

- 1) ▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、「決定」ボタンを押し、入力していく(22文字まで続けて入力できます。)
- 「全削除」を選ぶと入力した文字の全てを削除できます。リモコンの「デフォルト」ボタンを押すと、入力ボックス内のカーソルで選択されている1文字を消去できます。

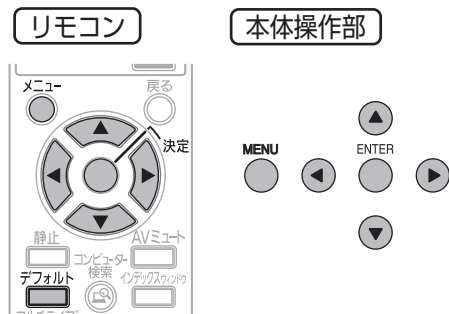


- 2) ▲▼◀▶ ボタンで「確定」を選び、「決定」ボタンを押す
- 中止する場合「キャンセル」を選んでください。

ワイヤレス (PT-LB80NT/PT-LB75NT のみ)

「メニュー画面の操作方法」(P.30 ページ) のメインメニューから「ワイヤレス」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで設定を行ってください。



お知らせ:

- コンピューターとネットワーク通信する場合に設定します。ネットワーク関連の詳細は、付属の CD-ROM の中にある「ネットワーク機能編」を参照ください。

■ ネットワーク

ネットワーク設定を切り換えたり、設定することができます。

■ プロジェクター名変更

本機のプロジェクター名を設定することができます。

■ パスワード設定

ネットワーク設定時にパスワードの確認を行う場合は、「オン」に設定します。

■ パスワード変更

パスワードを変更することができます。

■ ネットワークスタンバイ

本機の状態がスタンバイ状態のとき、無線 LAN で接続しているコンピューターから本機の電源を「ON」にしたい場合は、「オン」設定にします。

■ WEB 制御

ネットワーク通信しているコンピューターから本機を制御したい場合「オン」に設定します。

■ ライブモード割り込み

ネットワークでライブモード中に他のユーザーがライブモードで接続することを許可する場合は、「オン」に設定します。

■ ステータス

ネットワークの設定を表示します。

■ 初期化

ネットワークの設定を工場出荷状態に戻すことができます。

お知らせ:

- 「セキュリティ」メニューで「パスワード設定」を「オン」にしている場合、パスワード入力が必要です。

ランプモニター、温度モニター

モニターが点灯したら

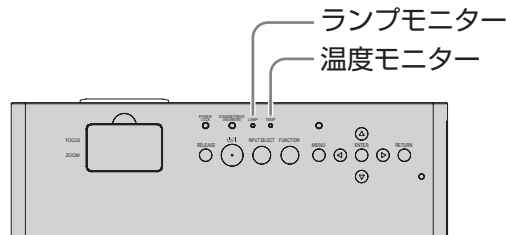
本機内部に異常が発生すると「ランプモニター」、「温度モニター」のランプが点灯や点滅でお知らせします。モニターの状態を調べて、次の処置を行ってください。

お願い：

- 処置を行うときの電源操作は「電源を切る」の手順を必ずお守りください。(P.23 ページ)

お知らせ：

- 電源の状態は「電源モニター」で確認してください。(P.21 ページ)



■ ランプモニター

点灯状況	● 赤色点灯	● 赤色点滅
状態	ランプユニットの交換時期を知らせています。ランプユニットの使用時間が2 800 時間に達すると点灯します。	光源ランプが点灯しない、または途中で不点灯になった。
お調べください	電源を入れたときに、ランプの交換を促すオンスクリーン表示がされていますか。	電源を切ってからすぐに電源を入れたかまたは、停電などが発生していませんか。
処置方法	ランプユニットの交換を行ってください。(P.47 ページ)	電源プラグを抜いてもう一度電源プラグを差してみてください。 「電源を切る」(P.23 ページ) の手順で電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

お知らせ：

- 上記の処置をしても、「ランプモニター」が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご相談ください。

■ 温度モニター

点灯状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 投写中に赤色点灯 『取扱説明書の「温度モニター」をご覧ください。』とスクリーンに表示されます。映像が暗くなる場合があります。 ● 温度異常で自動的に投写を中止した場合 赤色点滅 			
状態	周囲温度または、内部が異常に高温になっています。			
お調べください	吸排気孔がふさがれていませんか。	エアフィルターが目づまりしていませんか。	気温の高いところで使用していませんか。	海拔 1 400 m 以上の場所で使用していませんか。
処置方法	吸排気孔をふさいでいるものを取り除いてください。	エアフィルターを掃除してください。(P.45 ページ)	仕様で定められた周囲温度、周囲湿度の場所に設置してください。(P.55 ページ)	電源を入れてから約 2 分間のみ本体を動作させることができます。2 分以内に「高地モード」を「オン」してください。(P.39 ページ)

お知らせ：

- 上記の処置をしても、「温度モニター」が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。
- 設置環境により本体内部温度が上昇すると、ファンの回転数が増え音が変わります。

点検とお手入れ

お手入れ / 部品交換

お手入れ / 部品交換の前に

- お手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。(P20、23 ページ)
- 電源を切るときは「電源を切る」の手順を必ずお守りください。(P23 ページ)

お手入れ

■ 外装ケース

汚れやほこりは柔らかい乾いた布でふき取ってください。

- 汚れがひどいときは水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコール等の溶剤、または台所用洗剤、化学ぞうきんは使用しないでください。使用されると外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。

■ レンズカバー

レンズカバーにゴミやほこりが付着すると、スクリーンにゴミやほこりが拡大されて映ります。柔らかいきれいな布でふいてください。レンズカバーは、ほこりのついた布でふかないでください。

お願い：

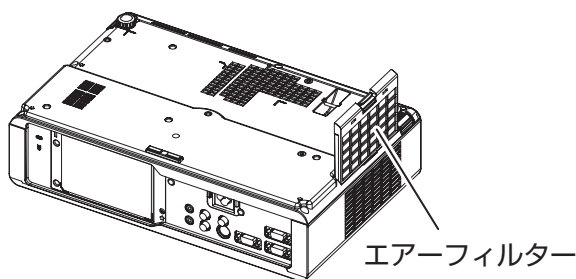
- レンズカバーはガラス部品です、堅いものに当てたり落下させたり強くふいたりすると傷つくおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。

■ エアフィルター

エアフィルターにほこりがたまり過ぎると、本機内部温度が高温になり、「温度モニター」が点灯し、電源が切れます。電源が切れると「温度モニター」が点滅します。掃除は約 100 時間を目安に行ってください。

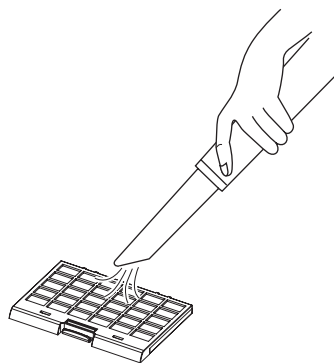
1) やわらかい毛布等の上に本機を裏返して置く

- 本機に傷がつかないように、静かに置いてください。
- エアフィルターにつめをかけて本機からゆっくりと引きあげてください。



2) エアフィルターを掃除する

掃除機でほこりを吸い取ってください。



3) エアフィルターを取り付ける

お知らせ：

- エアフィルターは必ず取り付けてご使用ください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み故障の原因になります。

部品交換

■ エアークフィルタ

掃除をしても、ほこりがとれなくなったら交換時期です。
 交換用のエアークフィルタは別売り部品です。(サービス部品扱い) ご購入の際は販売店にご相談ください。
 また、ランプユニットの交換の際、あわせてエアークフィルタも交換してください。
 交換用のランプユニット [ET-LAB80] には、エアークフィルタ (品番: TXFMZ01VKG7) が付属しています。

■ ランプユニット

ランプユニットは消耗部品です。使用時間を確認し (P38 ページ)、定期的な交換を行ってください。
 ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。
 ランプユニット品番: ET-LAB80 (サービス部品扱い) ご購入の際は、販売店にご相談ください。



警告

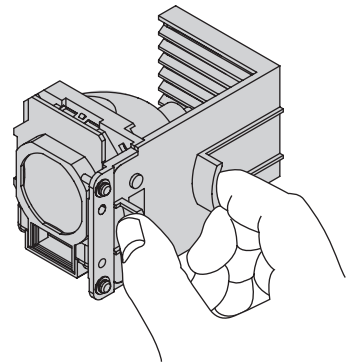
■ ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから (1 時間以上待つ) 行う



カバー内部がかなり熱く、やけどの原因になります。

■ ランプユニットの交換上のお願ひ

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した古いランプユニットを廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口または、販売店で正しい廃棄方法をお問い合わせください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ランプユニットを交換する際は必ずランプユニットの取っ手を持って取り扱ってください。
- ガラス破片飛散防止のため、ランプユニットを水平に持って交換してください。またプロジェクターを天井に取り付けている場合は、ランプユニットの真下で作業をしたり、顔を近づけないでランプを水平に引き出して交換してください。



お知らせ:

- 上記のランプ以外は使用しないでください。

■ ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は 3 000 時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、3 000 時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。3 000 時間を過ぎると、ランプが破裂する可能性が高くなるため、ランプは自動的に消灯します。早めのランプユニットの準備をお勧めします。

	オンスクリーン表示	ランプモニター
2 800 時間以降	30 秒間表示されます。また 30 秒以内にいずれかのボタンを押せば表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
3 000 時間以降	いずれかのボタンを押さない限り表示は消えません。	

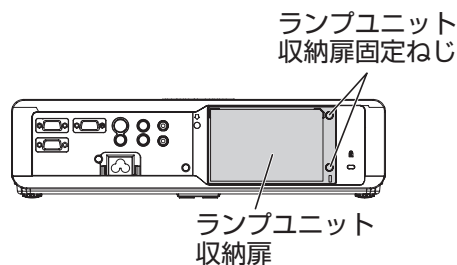
お知らせ:

- 3 000 時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については、56 ページ「保証期間」や保証書をご覧ください。

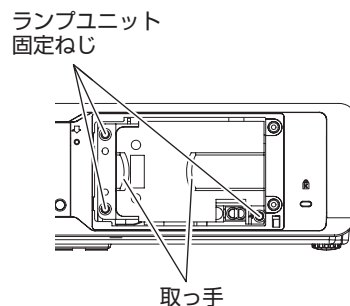
■ ランプユニット交換手順

- プロジェクターを天井に取り付けている場合、ランプユニット近辺で顔を近づけて作業をしないでください。
- ランプユニットは確実に取り付けてください。ランプユニットの取り付けが不完全だと、保護回路が動作し電源が入りません。

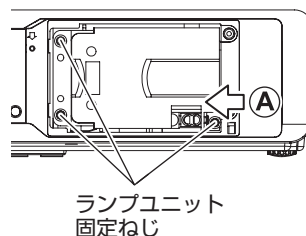
- ① 「電源を切る」(P.23 ページ) の手順を守り、コンセントから電源プラグを抜き、1 時間以上待ちランプユニット近辺が冷えていることを確認する
- ② 本体後面の「ランプユニット収納扉固定ねじ」(2本) をプラスドライバーで空回りするまで回し、「ランプユニット収納扉」を取り外す



- ③ 「ランプユニット固定ねじ」(3本) をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニットの取っ手を持ち、ゆっくりと本体から引き出す



- ④ 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込み、「ランプユニット固定ねじ」(3本) をプラスドライバーでしっかりと締めつける
挿入時、特にⒶ部をよく押し込んでください。



- ⑤ ランプユニット収納扉を取り付け、「ランプユニット収納扉固定ねじ」(2本) をプラスドライバーでしっかりと締めつける
- ⑥ 電源プラグをコンセントに差し込む

お手入れ / 部品交換 (つづき)

⑦ 電源ボタンを押し、映像投写を開始する

お願い:

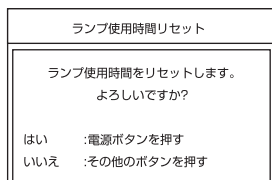
- 「本体設定」メニューの「ダイレクトパワーオン」を「オン」にしていると、電源プラグをコンセントに差し込むだけで投写を開始します。(☞ 39 ページ)

⑧ 「メニュー」(MENU) ボタンを押し、「メインメニュー」画面を表示させ、▲▼ ボタンでカーソルを「本体設定」の項目へ移動する

⑨ 「決定」(ENTER) ボタンを押し、「本体設定」画面を表示させ、▲▼ ボタンで「ランプ使用時間」の項目を選択する

⑩ 「決定」(ENTER) ボタンを約3秒間押し続ける

- 「ランプ使用時間リセット」の確認画面が表示されます。



お願い:

- 電源ボタン以外のボタンを押すと「ランプ使用時間リセット」画面が消え、ランプ使用時間はリセットされません。再度 ⑧ からやりなおしてください。

⑪ 電源ボタンを押す

- ランプが消えて映像の投写が停止し、電源ボタンが赤色に点灯したら、電源プラグを抜いてください。

⑫ ランプ使用時間が「0」にリセットされます

修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。
詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	20
	● コンセントに電源がきていますか。	20
	● ブレーカが落ちていませんか。	—
	● 「温度モニター」または、「ランプモニター」が点灯または、点滅していませんか。	44
	● ランプユニット収納扉は確実に取り付けられていますか。	47
	● 本体操作ボタンが「ロック」されていませんか。	14
映像がでない	● 入力端子は正しく接続されていますか。	18、19
	● 入力切換は正しく設定されていますか。	25
	● 明るさ調整が最小になっていませんか。	31
	● 本機に接続している外部機器は正常に動作していますか。	—
	● AV ミュート機能を使用していませんか。	25
映像がボヤけている	● レンズのフォーカスは合っていますか。	24
	● 投写距離は適切ですか。	16
	● レンズが汚れていませんか。	45
	● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。	16
色が薄い / 色あいが悪い	● 「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。	31
	● 本機に接続している機器は正しく調整されていますか。	—
内蔵スピーカーから音がでない	● 入力端子は正しく接続されていますか。	18、19
	● 音量調整が最小になっていませんか。	26、41
	● 音声出力 (VARIABLE AUDIO OUT) 端子に、ケーブルが接続されていませんか。	15
リモコンが働かない	● 乾電池が消耗していませんか。	—
	● 乾電池の極性は正しくセットされていますか。	13
	● リモコンと本機のリモコン受信部の間に障害物はありませんか。	13
	● リモコン有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。	13
	● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。	13
本体操作部のボタンが働かない	● 「本体ボタン操作」の設定が「無効」になっていませんか。「無効」に設定したあとにリモコンを紛失した場合などには、本体操作部の「ENTER」ボタンを押しながら「MENU」ボタンを2秒以上押せば設定を「有効」に戻すことができます。	39
正常な映像が映らない	● TV システムの選択は正しく行われていますか。	33
	● ビデオテープなど、映像ソース側に異常はありませんか。	—
	● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	50
コンピューターからの映像が映らない	● RGB 信号ケーブルが長くありませんか。(10m 以下にしてください。)	—
	● ノート型コンピューターの外部映像出力が、正しく設定されていますか。(例：「Fn」 + 「F3」あるいは「Fn」 + 「F10」ボタンを同時に押すと、外部出力設定が切り替わる場合があります。コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューターに付属の説明書をご覧ください。)	37
	● コンピューター 2 入力 / 1 出力端子に信号を入力している場合に「本体設定」メニューで「COMPUTER 2 入力選択」を「出力」に設定していませんか。	38

対応信号リスト

本機が投写できる映像信号は下表の通りです。

対応信号	解像度 (ドット) *1	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	画質 *2	フォーマット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	720 x 480i	15.7	59.9	—	A	ビデオ /S ビデオ
PAL/PAL-N/SECAM	720 x 576i	15.6	50.0	—	A	
525i (480i)	720 x 480i	15.7	59.9	13.5	A	コンピューター / YPbPr
625i (576i)	720 x 576i	15.6	50.0	13.5	A	
525p (480p)	720 x 483	31.5	59.9	27.0	A	
625P (576p)	720 x 576	31.3	50.0	27.0	A	
1 125 (1 080)/60i	1 920 x 1 080i	33.8	60.0	74.3	A	
1 125 (1 080)/50i	1 920 x 1 080i	28.1	50.0	74.3	A	
750 (720)/60p	1 280 x 720	45.0	60.0	74.3	A	コンピューター / YPbPr*3
750 (720)/50p	1 280 x 720	37.5	50.0	74.3	A	
VESA	640 x 400	31.5	70.1	25.2	A	コンピューター
	640 x 400	37.9	85.1	31.5	A	
VGA	640 x 480	31.5	59.9	25.2	A	
	640 x 480	35.0	66.7	30.2	A	
	640 x 480	37.9	72.8	31.5	A	
	640 x 480	37.5	75.0	31.5	A	
	640 x 480	43.3	85.0	36.0	A	
SVGA	800 x 600	35.2	56.3	36.0	A	
	800 x 600	37.9	60.3	40.0	A	
	800 x 600	48.1	72.2	50.0	A	
	800 x 600	46.9	75.0	49.5	A	
MAC	800 x 600	53.7	85.1	56.3	A	
	832 x 624	49.7	74.6	57.3	A	
	1 024 x 768	39.6	50.1	51.9	AA	
	1 024 x 768	48.4	60.0	65.0	AA	
XGA	1 024 x 768	56.5	70.1	75.0	AA	
	1 024 x 768	60.0	75.0	78.8	AA	
	1 024 x 768	68.7	85.0	94.5	AA	
	1 024 x 768	64.0	71.2	94.2	A	
MXGA	1 152 x 864	67.5	74.9	108.0	A	
	1 152 x 864	77.1	85.0	119.7	B	
MAC	1 152 x 870	68.7	75.1	100.0	A	
MSXGA	1 280 x 960	60.0	60.0	108.0	A	
SXGA	1 280 x 1 024	64.0	60.0	108.0	A	
	1 280 x 1 024	80.0	75.0	135.0	B	
	1 280 x 1 024	91.1	85.0	157.5	B	
SXGA60+	1 400 x 1 050	64.0	60.0	108.0	A	
	1 400 x 1 050	65.1	59.9	122.4	B	
UXGA	1 600 x 1 200	75.0	60.0	162.0	B	
WIDE750 (720)	1 280 x 720	44.8	59.9	74.5	A	
	1 280 x 720	37.1	49.8	60.5	A	
WXGA768	1 280 x 768	39.6	49.9	65.3	A	
	1 280 x 768	47.8	59.9	79.5	A	
WXGA800	1 280 x 800	41.3	50.0	68.0	A	
	1 280 x 800	49.1	60.2	69.1	A	
	1 280 x 800	49.7	59.8	83.5	A	
WXGA+	1 440 x 900	55.9	59.9	106.5	A	
WSXGA+	1 680 x 1 050	65.3	60.0	146.3	B	
WUXGA	1 920 x 1 200	74.6	59.9	193.3	B	

*1 解像度の後ろの“i”は、インターレース信号を示しています。

*2 画質を表す記号は下記の通りです。

AA 最高の画質で投写できます。

A 画像処理回路で変換を行い投写しています。

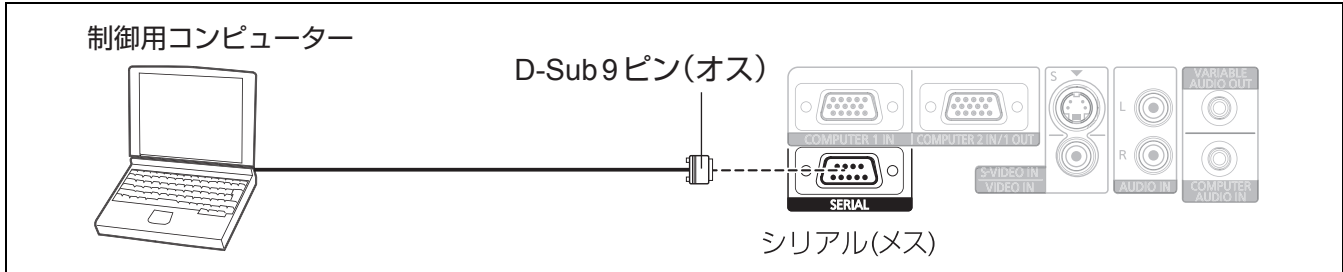
B 画像処理回路で画素を間引いて投写します。

*3 コンピューター入力端子へ、750 (720)/60P、750 (720)/50P、のコンピューター信号を入力した際は、WIDE750 (720)として投写します。自動位置補正機能を実行してください。但し信号によって画面位置が合わない場合があります。その場合は「位置調整」メニューで調整してください。

シリアル端子について

本機接続端子部のシリアル端子は RS-232C に準拠しており、コンピューターと接続して本機をコンピューターで制御することができます。

■ 接続



■ ピン配列と信号名

D-Sub9 ピン (外側から見た図)	ピン NO.	信号名	内容
	①		NC (何も接続されていません)
	②	TXD	送信データ
	③	RXD	受信データ
	④		NC (何も接続されていません)
	⑤	GND	グラウンド
	⑥		NC (何も接続されていません)
	⑦	RTS	内部で接続されています
	⑧	CTS	
	⑨		NC (何も接続されていません)

■ 通信条件

信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600bps
パリティ	なし

キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

■ 基本フォーマット

<table border="1"> <tr> <td>STX</td> <td>コマンド</td> <td>:</td> <td>パラメーター</td> <td>ETX</td> </tr> <tr> <td>スタート (02h)</td> <td>3byte</td> <td></td> <td>1byte ~ 4byte</td> <td>エンド (03h)</td> </tr> </table>	STX	コマンド	:	パラメーター	ETX	スタート (02h)	3byte		1byte ~ 4byte	エンド (03h)	<p>コンピューターからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。 パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。</p>
STX	コマンド	:	パラメーター	ETX							
スタート (02h)	3byte		1byte ~ 4byte	エンド (03h)							

お願い:

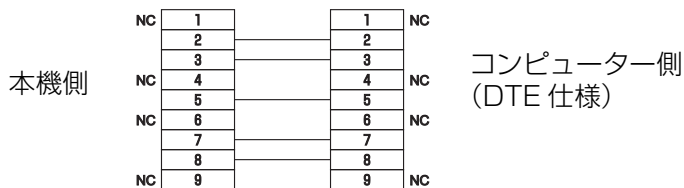
- ランプ点灯開始後、約 10 秒間はコマンドを受信できません。必ず 10 秒以上経過してから送信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン (:) は必要ありません。

お知らせ:

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から「ER401」というコマンドがコンピューター側に送信されます。

■ ケーブル仕様

< コンピューターと接続する場合 >



■ 制御コマンド

コンピューターで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

< 操作コマンド >

コマンド	内容	備考
PON	電源「入」	スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。 ● ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。
POF	電源「切」	● ランプ消灯後、冷却ファン動作中に「PON」コマンドを送信した場合、ランプの保護のため、消灯後約 30 秒経過しないと点灯制御を開始しません。
AVL	音量	パラメーター 000 (調整値 0) ~ 063 (調整値 63)
IIS	入力信号切り換え	パラメーター VID = ビデオ SVD = S ビデオ RG1 = コンピューター 1 入力 RG2 = コンピューター 2 入力 NWP = ワイヤレス
Q\$\$	ランプ点灯状態問い合わせ	コールバック 0 = スタンバイ 1 = ランプ点灯制御中 2 = ランプ点灯 3 = ランプ消灯制御中
OSH	AV ミュート機能	映像と音声を一時的に消します。 コマンドを送信するごとに ON / OFF が切り換わります。(P.25 ページ) 短時間での ON / OFF の切り換えは行わないでください。

投写画面サイズ (アスペクト 16 : 9 の場合)

対角 (SD)	PT-LB80NT/PT-LB80		PT-LB75NT/PT-LB75	
	最短投写距離 (LW)	最長投写距離 (LT)	最短投写距離 (LW)	最長投写距離 (LT)
33 型 (0.84 m)	—	1.2 m	—	1.2 m
40 型 (1.02 m)	1.2 m	1.5 m	1.3 m	1.5 m
50 型 (1.27 m)	1.6 m	1.9 m	1.6 m	1.9 m
60 型 (1.52 m)	1.9 m	2.3 m	1.9 m	2.3 m
70 型 (1.78 m)	2.2 m	2.7 m	2.2 m	2.6 m
80 型 (2.03 m)	2.5 m	3.0 m	2.5 m	3.0 m
90 型 (2.29 m)	2.8 m	3.4 m	2.8 m	3.4 m
100 型 (2.54 m)	3.2 m	3.8 m	3.2 m	3.8 m
120 型 (3.05 m)	3.8 m	4.6 m	3.8 m	4.6 m
150 型 (3.81 m)	4.8 m	5.8 m	4.7 m	5.7 m
200 型 (5.08 m)	6.4 m	7.7 m	6.3 m	7.6 m
250 型 (6.35 m)	8.0 m	9.6 m	7.9 m	9.5 m
300 型 (7.62 m)	9.6 m	11.6 m	9.5 m	11.4 m

上記の表以外の投写寸法を、投写画面サイズ SD (型) から下記の計算式で求めることができます。計算結果の単位はすべて m です。(下記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。)

投写画面サイズを SD とすると、

投写画面サイズ 高さ (SH) = SD × 0.0125

投写画面サイズ 幅 (SW) = SD × 0.0221

	PT-LB80NT/PT-LB80	PT-LB75NT/PT-LB75
最短投写距離 (LW)	= 0.0321 × SD - 0.04	= 0.0318 × SD - 0.022
最長投写距離 (LT)	= 0.0388 × SD - 0.06	= 0.0383 × SD - 0.046

仕様

本機の仕様は下表の通りです。

使用電源		AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力		300 W (スタンバイ時約 3.0 W ただし、ファン停止時)
液晶パネル	パネルサイズ	0.63 型 LCD (アスペクト比 4 : 3)
	表示方式	透過型液晶パネル 3 枚 3 原色方式
	駆動方式	アクティブマトリクス方式
	画素数	786 432 画素 (1 024 × 768 ドット) × 3 枚
レンズ		マニュアルズーム (1.2 倍) ・フォーカス F 1.6 ~ 1.9, f 18.8 mm ~ 22.6 mm (PT-LB80NT/PT-LB80) F 1.7 ~ 1.9, f 18.5 mm ~ 22.2 mm (PT-LB75NT/PT-LB75)
光源ランプ		220 W UHM ランプ
光出力		3 200 lm (PT-LB80NT/PT-LB80) 2 500 lm (PT-LB75NT/PT-LB75)
※ 対応走査周波数 (RGB 信号時)	水平走査周波数	15 kHz ~ 91 kHz
	垂直走査周波数	50 Hz ~ 85 Hz
	ドットクロック 周波数	110 MHz 以下
YPbPr 信号		525i (480i)、525p (480p)、625i (576i)、625p (576p)、 750 (720)/60p、750 (720)/50p、1 125 (1 080)/60i、 1 125 (1 080)/50i
カラー方式		7 方式 (NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM)
投写画面サイズ		33 型 ~ 300 型
光軸		8 : 1 固定 (PT-LB80NT/PT-LB80) 5 : 1 固定 (PT-LB75NT/PT-LB75)
投写距離		1.1 m ~ 11.6 m
画面アスペクト比		4 : 3
投写方式		フロント / 床置き、フロント / 天つり、リア / 床置き、リア / 天つり (メニュー設定方式)
スピーカ		4 cm × 2 cm だ円型 1 個
音声実用最大出力		1.0 W (モノラル)
接続端子	映像入力端子	● S ビデオ : 1 系統 Mini DIN 4p Y 1.0 V [p-p] C 0.286 V [p-p] 75 Ω ● ビデオ : 1 系統 RCA ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω
	コンピューター (RGB) 入力端子	2 系統 高密度 D-sub 15p (メス) ● RGB 入力 / 出力時 R、G、B: 0.7 V [p-p] 75 Ω G・SYNC: 1.0 V [p-p] 75 Ω HD・VD/SYNC: TTL ハイインピーダンス正 / 負極性自動対応 ● YPbPr YCbCr 入力 / 出力時 Y : 1.0 V [p-p] (同期信号を含む) 75 Ω Pb/Cb、Pr/Cr : 0.7 V [p-p] 75 Ω
	音声入力端子	1 系統 RCA ピンジャック × 2 (L-R) 0.5 V[rms] 1 系統 M3 ジャック (ステレオミニジャック) 0.5 V[rms]
	音声出力端子	1 系統 M3 ジャック (ステレオミニジャック) (モニター出力、ステレオ対応可) 0 V[rms] ~ 2.0 V[rms] (可変)
	シリアル端子	D-Sub 9 ピン RS-232C 準拠 (コンピューター制御用)

※本機が投写できる映像信号について詳しくは (P.50 ページ) 対応信号リストをご覧ください。

無線 LAN (PT-LB80NT PT-LB75NT のみ)	準拠規格	IEEE802.11 b/IEEE802.11 g (無線 LAN 標準プロトコル)
	使用無線 チャンネル	IEEE802.11 b/IEEE802.11 g: 1 ~ 13 チャンネル
	通信距離	30 m (ただし、使用環境によりことなります)
電源コードの長さ	2.0 m	
外装ケース	樹脂成型品 (PC+ABS)	
外形寸法	<ul style="list-style-type: none"> ● 横幅 368 mm ● 高さ 97 mm ● 奥行 233 mm (突起部を除く) 	
質量	3 kg	
使用環境条件	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用周囲温度 0℃~40℃ (ただし、39ページ「高地モード」を「オン」に設定している場合は、0℃~35℃) ● 使用周囲湿度 20%~80% (結露のないこと) 	
<リモコン>	使用電源	DC 3 V (単 3 形乾電池 2 個)
	操作距離	約 15 m (受信部正面)
	質量	約 117 g (乾電池含む)
	外形寸法	<ul style="list-style-type: none"> ● 横幅 48 mm ● 高さ 163 mm ● 厚さ 24.5 mm
<オプション>	天つり金具	ET-PKB80

- この液晶プロジェクターを使用できるのは日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This LCD projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

商標について

- オンスクリーンメニューに使用しているフォントの一部は、株式会社リコーが製作・販売した、リコービットマップフォントです。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらの記号はヨーロッパ連合内でのみ有効です
本製品を廃棄したい場合は日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。



修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

■保証期間

お買い上げ日から本体 1 年間。ただし光源ランプは 6 ヵ月または 600 時間の早い方。

■修理を依頼されるとき

49 ページの「修理を依頼される前に」や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
ただし、プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
注) 補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。
- 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番・お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	モニターランプ点灯状況を含め、詳しくお願いします。
訪問希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

パナソニックプロジェクターサポートセンター

ワイヤレスの設定や操作でご不明なことがございましたら
なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら **0120-872601** 受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9：00～12：00 13：00～17：00

URL:<http://panasonic.biz/projector/>

※書面や電話／FAX を使用しお答えする場合や、返事を差しあげるお時間を頂くこともございます。
※お電話頂く際には、番号をお確かめの上、お間違えのないようにお掛けください。

用語について

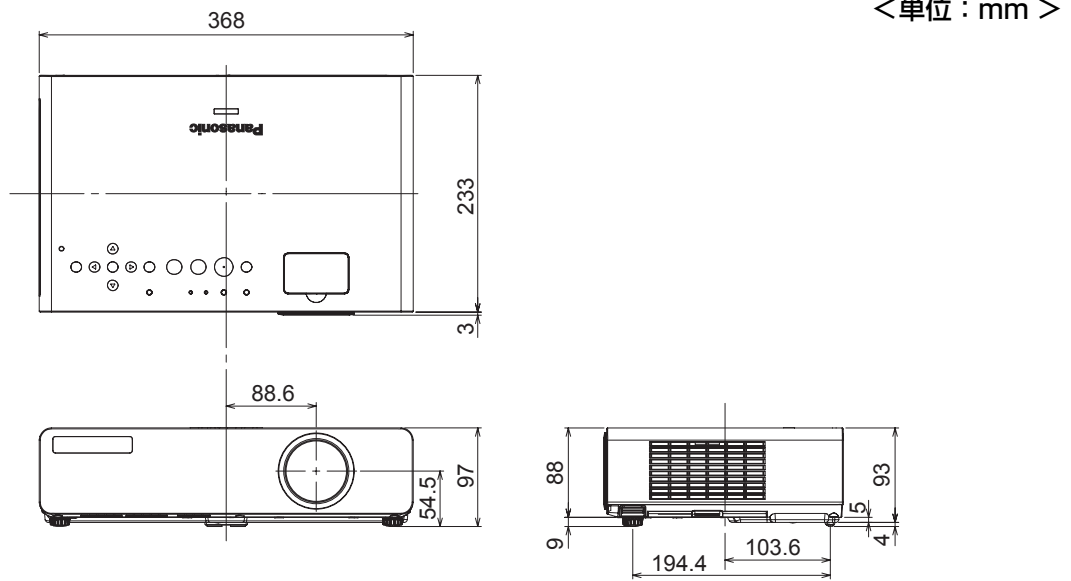
取扱説明書内の用語について説明します。

HDTV	High Definition Television の略。 従来方式のテレビの走査線 (NTSC 525 本、PAL・SECAM 625 本) から、約2倍の 1125 本または、1250 本に増やして画質を向上させた次世代テレビの信号方式の総称。
NTSC	National TV Standards Committee の略。 日本や米国などで利用されているビデオ・テレビの信号方式。 (走査線 525 本、30 インタレースフレーム/秒)
PAL	Phase Alternating Line の略。ヨーロッパや中国などで利用されているビデオ・テレビの信号方式。(走査線 625 本、25 インタレースフレーム/秒)
RGB	Red(赤)、Green(緑)、Blue(青)の光の3原色。プロジェクターや、モニタ、カラーテレビなどでは、この3つの色を混ぜ合わせることで色調を表現する。
SECAM	Sequentiel Couleur avec Memoire (仏語) の略。 フランス、ロシア、東欧、中東、アフリカなどで利用されているビデオ・テレビの信号方式。(走査線 625 本、25 インタレースフレーム/秒)
アクティブマトリクス方式	液晶パネルの駆動方式のひとつ。画素の1つ1つに対応するアクティブ素子を追加しているため、クリアで応答速度が速い。
オーバースキャン	テレビ画面などで入力された信号の外周部を切り落として表示すること。
コンポーネントビデオ信号 (YPbPr)	Sビデオ信号より、さらに高画質化を図った信号で、色どうしの干渉を避けるため、輝度信号と色信号を分離し、Yは輝度、Pb (Cb) は青系、Pr (Cr) は赤系に分けて送る色差方式の信号。
シリアル端子	プロジェクターとコンピューターを接続して、コンピューターで制御することができるシリアル通信規格。ほとんどのコンピューターに標準で搭載されている。本機は RS-232C (Recommended Standard 232 version C の略) に準拠。
台形ひずみ	スクリーンに映像を投写する際に、プロジェクターがスクリーンに対して上下や左右に傾いていると映像が台形の形にひずんで投写されること。

さくいん

A			
AC 入力端子	15		
AV ミュートボタン	13, 25		
C			
COMPUTER2 入出力選択	38		
O			
OSD デザイン	41		
R			
RGB/YPBPR	38		
RS-232C	51		
S			
SXGA モード	41		
S ビデオ / ビデオ映像入力端子	15		
S ビデオ / ビデオ用 音声入力端子	15		
T			
TV システム	33		
あ			
明るさ	31		
アジャスター脚	15, 17, 24		
アジャスターボタン	14, 17, 24		
アスペクト	35		
い			
位置調整	29, 34		
色あい	31		
色温度設定	32		
色の濃さ	31		
インデックスウィンドウ	26		
インデックスウィンドウ ボタン	13		
え			
映像調整	28, 31		
映像モード	31		
お			
お手入れ	45		
オンスクリーンメニュー	28		
音声出力端子	15		
温度モニター	14, 44		
音量	26, 41		
音声バランス	41		
音量ボタン	13		
か			
外形寸法図	60		
く			
クロックフェーズ	35		
け			
言語設定	12, 29, 36		
こ			
工場出荷時の状態に戻す	30		
高地モード	12, 39		
黒板モード	41		
コントラスト	31		
コンピューター 1・2 用 音声入力端子	15		
コンピューター 1 入力端子	15		
コンピューター 2 入力 / 1 出力 端子	15		
さ			
サブメニュー	28		
し			
自動位置補正	39		
自動位置補正ボタン	13		
自動補正	26		
シャープネス	32		
修理を依頼される前に	49		
仕様	54		
詳細設定	33, 41		
シリアル端子	15, 51		
す			
ズームリング	14		
スタートアップロゴ	37		
スピーカー	15		
せ			
静止画モード	33		
静止ボタン	13, 25		
セキュリティ	29, 42		
接続端子部	15		
設置方法	12, 39		
全設定初期化	41		
た			
対応信号リスト	50		
台形補正	34		
ダイレクトパワーオフ機能	20		
ダイレクトパワーオン	39		
ダイレクトパワーオン機能	20		
て			
デイルイトビュー	32		
テキスト設定	42		
テキスト変更	42		
デジタルズームボタン	13, 27		
テストパターン	40		
デフォルトボタン	13, 26		
電源オフタイマー	38		
電源コード	11, 20		
電源コード抜け防止カバー	20		
電源ボタン (リモコン)	13		
(本体)	14		
電源モニター	14, 21		
電源ロックモニター	14, 21		
電源を入れる / 切る	20		
と			
投写	24		
投写画面サイズ	16		
投写方式	17		
ドットクロック	34		
に			
入力ガイド	37		
入力切換ボタン (本体)	14		
(リモコン)	13, 25		
入力検出	39		
の			
ノイズリダクション	33		
は			
パスワード設定	42		
(ネットワーク)	43		
パスワード変更	42		
(ネットワーク)	43		
バックカラー	41		
ふ			
ファンクション	27		
ファンクションボタン	40		
(リモコン)	13		
(本体)	14		
フォーカスリング	14, 24		
付属品	11		
フレームロック	36		
へ			
ページボタン	13		
ほ			
保証とアフターサービス	56		
ホワイトバランス	33		
本体設定	29, 37		
本体ボタン操作	39		
ま			
マルチライブボタン	13		
め			
メインメニュー	28		
メニューボタン	13		
よ			
用語について	57		
ら			
ランプ使用時間	38		
ランプパワー	38		
ランプモニター	14, 44		
ランプユニット収納部	15		
り			
リアルタイム台形補正	34		
リモコン	13		
電池の入れかた	13		
リモコン発信部	13		
リリースボタン	14		
わ			
ワイドモード	38		
ワイヤレス	29, 43		
WEB 制御	43		
ステータス	43		
ネットワーク	43		
ネットワークスタンバイ	43		
プロジェクター名変更	43		
ライブモード割り込み	43		
初期化	43		

外形寸法図



愛情点検

長年ご使用のプロジェクターの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像がでない
- 映像が連続してチラついたりユレたりする。
- 電源入時以外にジージー・パチパチと異常な音がする。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため [P.20](#) ページの手順でコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年 月 日	品番	PT-LB80NT/PT-LB80 PT-LB75NT/PT-LB75
販売店名	電話 () -		
お客様ご相談窓口	電話 () -		

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

© 2008 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

S0308-1048B